2019年度生用

明治学院大学履修要項 ~履修の方法を知るために~

2021 Meiji Gakuin University

目 次

明治学院大学	ポートへボン⇒
人材養成上の目的・教育目標	履修要項の最上部に
卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー) ・・・・・	
教育課程の編成および実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	全学部共通の学修の手
	引き等がありますの
はじめに	で、そちらをご覧くだ
情報の伝達	
	さい
学修の手引き	
カリキュラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
単位制	
履修	
授業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
試験 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
成績	
卒業と学位	
単位認定	
明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケイト・プログラ	
明治学院共通科目	2 7
人材養成上の目的・教育目標 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	2 9
期待される学修成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9
教育課程の編成および実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	2 9
期待される学修成果と授業科目の関連表(能力要件表)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 1
明治学院共通科目履修の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 0
履修上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 0
科目ナンバリングについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1
必修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
1. [コア科目] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
2. [言語系科目] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 2
3. 「情報処理系科目」 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 3

	選択を	科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		4 4	1
	1.	[言語系科目群]	. ,	4 4	Į
	2.	[人文科学系科目群]	. ,	4 6	;
	3.	[社会科学系科目群] ·····		4 7	7
	4.	[自然科学系科目群] ·····		4 7	7
	5.	[情報処理系科目群]		4 8	3
	6.	[健康・スポーツ科学系科目群] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		4 8	3
	7.	[総合教育系科目群]		4 8	3
	8.	[特別学科科目]		5 0)
	単位記	認定用科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5 1	L
	1.	[短期留学認定科目]		5 1	L
	2.	[海外インターンシップ関連科目]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5 1	ı
.P. 3	理学				
	•	· 化 理 学 部》			
		垤 チ		5 F	5
		その認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)······			
		育課程の編成および実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) ······		5 5	
		立理 学 科			
	人柞	才養成上の目的・教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5 6	3
	卒第	との認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5 6	3
		育課程の編成および実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		5 6	3
	卒業	きの認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)		5 8	3
	心理	里学科履修の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		6 1	_
公記	認心	理師			
	公認心	5理師の資格と職務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		7 1	L
	国家詢	弍験受験資格取得に必要な科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		7 2	2
	公認心	3理師の資格取得方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	7 4	Į
諸	資格	•	1	1 7	7
	1. 社	上会教育主事 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1	1 9)
	2. 社	上会福祉主事 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1	2 1	L
	3. 炉	君童福祉司 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1	2 3	3

明治学院共通科目

人材養成上の目的・教育目標

明治学院共通科目の主たる開講責任を負う教養教育センターは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、明治学院大学の教養教育の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

明治学院共通科目による教養教育は、世界に生起する諸問題について、他者との共生をめざし柔軟かつ誠実に 対処することのできる市民的教養を有する人材の養成を目的とする。そしてその実現のために、言語系科目と諸 領域科目の教育が連携し、多様な思考力と表現力を養成するための総合的な教育を推進する。

言語系科目の教育においては、コミュニケーション能力の向上と言語を育んできた自他の文化への理解を深め、自律的な学修態度を身につけることを教育目標とする。また、諸領域科目の教育においては、専門的知見の修得を通して、問題を的確に理解するための読解力や分析力、問題解決のための多面的な思考力を身につけることを教育目標とする。

期待される学修成果

教養教育センターは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成する。学生は、所定の 単位を修得することにより、次の態度、知識、能力を身につけることが期待できる。

- 1 建学の精神を理解し、多様な価値観を尊重しつつ、社会参加を通して他者への貢献を志向する態度
- 2 幅広い学問分野の基礎知識を有し、現代社会が抱える諸問題に対して多面的に捉え、的確に価値の判断を行 う能力
- 3 自ら発見した課題について、幅広い知見に基づいて、その解決策を適正かつ明確に提示する能力
- 4 他者とのコミュニケーションに必要な能力を身につけ、生涯にわたってそれを伸展させるための自律的学修をつづける 態度

教育課程の編成および実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

教養教育センターは、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、教養教育センターの定める「人材養成上の目的・教育目標」に沿って、「教育課程の編成および実施に関する方針」を次のとおり定める。

明治学院共通科目を、コア科目、言語系科目群、人文科学系科目群、社会科学系科目群、自然科学系科目群、情報処理系科目群、健康・スポーツ科学系科目群、総合教育系科目群の各群により構成する。効率的な教育効果を期待して、コア科目に加え、基礎、応用、発展のレベルを設定することにより、順次的、体系的な学修を促進できるように科目を編成する。

(1) コア科目

建学の精神を理解し、他者への貢献を実現するために必要な知見の獲得を目指して、下記の科目を開講する。 必修科目:「キリスト教の基礎」を1年次に配当する。

(2) 言語系科目群

英語によるコミュニケーション能力の向上、初習語における基礎的運用能力の育成を目指して、下記の科目を開講する。

必修科目:「英語コミュニケーション」を1年次に配当する。

留学生には、「日本語」科目を配当する。

選択必修:フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語を選択言語科目として配当する。

留学生は、日本語以外の言語、もしくは、「日本語研究」を選択必修とする。

*「日本語研究」を選択必修とするのは、法律学科・消費情報環境法学科・政治学科のみ。

自由選択: 英語のオーラシー(聞く・話す)に加え、リテラシー(読む・書く)強化を目指して、「英語研究」を開講する。 初習語学修の進展を目指して、必修科目として選択した初習語のインテンシブクラスとして各言語の「演習」を開講する。また、上記の選択必修科目に加えて、イタリア語・アラビア語・タイ語の学修を目的と した「基礎」を開講する。

初習語によるコミュニケーション能力の養成のため、「(初習)語研究」を開講する。

(3) 情報処理系科目群

選択必修:「コンピュータリテラシー」を1年次に配当する。

自由選択:「コンピュータリテラシー研究」、「情報科学」を開講する。

(4) 諸領域科目群

明治学院共通科目の期待される学修成果に示した 1 から 4 について、幅広い学問分野における知識と正確な判断力を涵養するため、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然科学系科目」、「健康・スポーツ科学系科目」、「総合教育系科目」の各分野・領域において諸科目を開講する。各授業科目には、個別の授業 テーマが提示される。

期待される学修成果と授業科目の関連表(能力要件表) (明治学院共通科目 心理学部)

					統合的な特	学型経験 レ
学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性		思考力
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	重する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
必修科目						
1. 37科目			1			1
MGCHR101キリスト教の基礎A	1	0				
MGCHR102キリスト教の基礎B	1	©				
2. 言語系科目			T		T	1
MGENG101英語コミュニケーション1A	1		0	0		
MGENG102英語コミュニケーション1B	1		0	0		
MGENG103英語コミュニケーション2A	1		0	0		
MGENG104英語コミュニケーション2B	1		0	0		
MGFRE101フランス語1A	1		0	0		
MGFRE102フランス語1B	1		0	0		
MGFRE103フランス語2A	1		0	0		
MGFRE104フランス語2B	1		0	0		
MGCHN101中国語1A	1		0	0		
MGCHN102中国語1B	1		0	0		
MGCHN103中国語2A	1		0	0		
MGCHN104中国語2B	1		0	0		
MGGER101ドイツ語1A	1		0	0		
MGGER102ドイツ語1B	1		0	0		
MGGER103ドイツ語2A	1		©	0		
MGGER104ト゚イツ語2B	1		0	0		
MGSPN101スペイン語1A	1		0	0		
MGSPN102スペイン語1B	1		0	0		
MGSPN103スペイン語2A	1		0	0		
MGSPN104スペイン語2B	1		0	0		
MGKOR101韓国語1A	1		0	0		
MGKOR102韓国語1B	1		0	0		
MGKOR103韓国語2A	1		0	0		
MGKOR104韓国語2B	1		0	0		
MGJPN101日本語1A	1		0	0		
MGJPN102日本語1B	1		0	0		
MGJPN103日本語2A	1		0	0		
MGJPN104日本語2B	1		0	0		
3. 情報処理系科目						
MGCOM101コンヒ゜ュータリテラシー1	1	0	0		0	
MGCOM102コンヒ゜ュータリテラシー2	1	0	0		0	
選択科目						
1. 言語系科目群						
MGFRE111フランス語演習初級A	1		0	0		
MGFRE112フランス語演習初級B	1		0	0		
MGFRE221フランス語演習中級A	1		0	0	0	
MGFRE222フランス語演習中級B	1		0	0	0	
MGCHN111中国語演習初級A	1		•	0		
MGCHN112中国語演習初級B	1		0	0		
MGCHN221中国語演習中級A	1		0	0	0	
MGCHN222中国語演習中級B	1		•	0	0	
MGGER111h° dy語演習初級A	1		•	0		
MGGER112ドイツ語演習初級B	1		©	0		
MGGER221ドイツ語演習中級A	1		•	0	0	
MGGER222ドイツ語演習中級B	1		•	0	0	
MGSPN111スペイン語演習初級A	1		©	0		
MGSPN112スペイン語演習初級B	1		0	0		
MGSPN221スペイン語演習中級A	1		0	0	0	
MGSPN222スペイン語演習中級B	1		0	0	0	
MGKOR111韓国語演習初級A	1		0	0		
MGKOR112韓国語演習初級B	1		0	0		
MGKOR221韓国語演習中級A	1		0	0	0	
	<u> </u>	<u> </u>		·		<u> </u>

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な特 創造的	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問 題を捉えるための幅広 い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	重する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
MGKOR222韓国語演習中級B	1		0	0	0	
MGENG201英語特別研究A	1		0	0		
MGENG202英語特別研究B	1		0	0		
MGENG211英語研究1A	2	0	0	0		
MGENG212英語研究1B	2	0	0	0		
MGENG213英語研究2A	2	0	0	0		
MGENG214英語研究2B	2	0	0	0		
MGENG215英語研究3A	2	0	0	0	0	
MGENG216英語研究3B	2	0	0	0	0	
MGFRE211フランス語研究1A	2		0	0	0	
MGFRE212フランス語研究1B	2		0	0	0	
MGFRE213フランス語研究2A	2		0	0	0	
MGFRE214フランス語研究2B	2		0	0	0	
MGFRE315フランス語研究3A	2	0	0	0	0	
MGFRE316フランス語研究3B	2	0	0	0	0	
MGFRE317フランス語研究4A	3	0	©	0	0	
MGFRE318フランス語研究4B	3	0	0	0	0	
MGCHN211中国語研究1A	2		0	0	0	
MGCHN212中国語研究1B	2		0	0	0	
MGCHN213中国語研究2A	2		0	0	0	
MGCHN214中国語研究2B	2		0	0	0	
MGCHN315中国語研究3A	2	0	0	0	0	
MGCHN316中国語研究3B	2	0	0	0	0	
MGCHN317中国語研究4A	3	0	0	0	0	
MGCHN318中国語研究4B	3	0	0	0	0	
MGGER211ドイツ語研究1A	2		0	0	0	
MGGER212ドイツ語研究1B	2		0	0	0	
MGGER213ドイツ語研究2A	2		0	0	0	
MGGER214ドイツ語研究2B	2		0	0	0	
MGGER315ドイツ語研究3A	2	0	0	0	0	
MGGER316ドイツ語研究3B	2	0	0	0	0	
MGGER317ドイツ語研究4A	3	0	0	0	0	
MGGER318ト・イツ語研究4B	3	0	0	0	0	
MGSPN211スペイン語研究1A	2		•	0	0	
MGSPN212スペイン語研究1B	2		0	0	0	
MGSPN213スペイン語研究2A	2		0	0	0	
MGSPN214スペイン語研究2B	2	_	0	0	0	
MGSPN315スペイン語研究3A	2	0	0	0	0	
MGSPN316スペイン語研究3B	2	0	0	0	0	
MGSPN317スペイン語研究4A	3	0	0	0	0	
MGSPN318スペイン語研究4B	3	0	0	0	0	
MGRUS211ロシア語研究1A	2		0	0	0	
MGRUS212ロシア語研究1B	2		0	0	0	
MGRUS213ロシア語研究2A	2		0	0	0	
MGRUS214中7語研究2B	2		0	0	0	
MGRUS315ロシア語研究3A MGRUS316ロシア語研究3R	2	0	◎	0	0 0	
MGRUS316ロシア語研究3B	3	0	0	0	0	
MGRUS317pシ7語研究4A MGRUS318pシ7語研究4B	3	0	0	0	0	
MGKOR211韓国語研究1A	2	 	0	0	0	
MGKOR211韓国語研究1B MGKOR212韓国語研究1B	2		0	0	0	
MGKOR213韓国語研究2A	2		0	0	0	
MGKOR214韓国語研究2B	2		0	0	0	
MGKOR315韓国語研究3A	2	0	0	0	0	
MGKOR316韓国語研究3B	2	0	0	0	0	
MGKOR317韓国語研究4A	3	0	0	0	0	
MGKOR318韓国語研究4B	3	0	0	0	0	
MGRRE205フランス語3A	1		0	0	0	
MGFRE206フランス語3B	1		0	0		
mui NL200/ //A前30	<u>'</u>					

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な特 創造的	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問 題を捉えるための幅広 い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	<u>■</u> する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
MGFRE207フランス語4A	1		0	0		
MGFRE208フランス語4B	1		0	0	0	
MGCHN205中国語3A	1		0	0		
MGCHN206中国語3B	1		0	0		
MGCHN207中国語4A	1		0	0		
MGCHN208中国語4B	1		0	0		
MGGER205ト゚イツ語3A	1		0	0		
MGGER206ト°イツ語3B	1		0	0		
MGGER207ト*イツ語4A	1		0	0		
MGGER208ト イツ語 4B	1		0	0		
MGSPN205スペイン語3A	1		0	0		
MGSPN206スペイン語3B	1		0	0		
MGSPN207スペ イン語4A	1		0	0		
MGSPN208スペイン語4B	1		0	0		
MGK0R205韓国語3A	1		0	0		
MGKOR206韓国語3B	1		©	0		
MGKOR207韓国語4A	1		0	0		
MGKOR208韓国語4B	1		0	0		
MGITA101イタリア語の基礎A	1		0	0		
MGITA102イタリア語の基礎B	1		0	0		
MGARB1017ラピア語の基礎A	1		0	0		
MGARB1027ラピ7語の基礎B	1		0	0		
MGTHA10197語の基礎A	1		0	0		
MGTHA1029/語の基礎B	1		0	0		
MGGRE101+* リシア語研究A	1		0	0		
MGGRE102+* リシア語研究B	1		0	0		
MGLAT10157ン語研究A	1		© ©	0		
MGLAT102ラテン語研究B MGSIG101手話1	1		0	0		
MGSIG202手話2	1		0	0		
MGEUC1013-ロッハ [°] 言語圏の文化入門1	1	0	0	0		
MGEUC1023-ロッハ 言語圏の文化入門2	1	0	0	0		
MGEUC1033-ロッパ 言語圏の文化入門3	1	0	0	0		
MGEUC1043-ロッパ 言語圏の文化入門4	1	0	0	0		
MGEUC1053-ロッパ 言語圏の文化入門5	1	0	0	0		
MGEUC1063-ロッパ 言語圏の文化入門6	1	0	0	0		
MGEUC1113-0ッパ。言語圏の文化各論1	1	0	0	0		
MGEUC1123-ロッパ。言語圏の文化各論2	1	0	0	0		
MGEUC113ヨーロッハ゜言語圏の文化各論3	1	0	0	0		
MGEUC1143-ロッパ 言語圏の文化各論4	1	©	0	0		
MGEUC1153-ロッパ 言語圏の文化各論5	1	0	0	0		
MGEUC1163-ロッパ 言語圏の文化各論6	1	0	0	0		
MGASC1017ジア言語圏の文化入門1	1	0	0	0		
MGASC102アジア言語圏の文化入門2	1	0	0	0		
MGASC1037ジア言語圏の文化入門3	1	0	0	0		
MGASC104アジア言語圏の文化入門4	1	0	0	0		
MGASC111アジア言語圏の文化各論1	1	0	0	0		
MGASC112アジア言語圏の文化各論2	1	0	0	0		
MGASC113アジア言語圏の文化各論3	1	0	0	0		
MGASC1147ジア言語圏の文化各論4	1	0	0	0		
MGJPN205日本語3A	2		0	0		
MGJPN206日本語3B	2		0	0		
MGJPN207日本語4A	2		0	0		
MGJPN208日本語4B	2		0	0		
MGJPN211日本語研究1A	2		•	0		
MGJPN212日本語研究1B	2		•	0		
MGJPN213日本語研究2A	2		0	0		
MGJPN214日本語研究2B	2		0	0		
MGJPN215日本語研究3A	2		0	0		

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な ^負 創造的	学習経験と 思考力
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問 題を捉えるための幅広 い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	重する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
MGJPN216日本語研究3B	2		0	0		
2. 人文科学系科目群			·		l .	l .
MGCHR201聖書の世界1	2	0				
MGCHR202聖書の世界2	2	0				
MGCHR203聖書の世界3	2	0				
MGCHR204聖書の世界4	2	0				
	1					
MGCHR211キリスト教の思想と文化1	-			0		
MGCHR212キリスト教の思想と文化2	1			0		
MGCHR213キリスト教の思想と文化3	1			0		
MGCHR214キリスト教の思想と文化4	1			0		
MGCHR221宗教史1	1	0				
MGCHR222宗教史2	1	©				
MGCHR223宗教史3	1	0				
MGCHR224宗教史4	1	0				
MGCHR231現代社会とキリスト教1	1				0	0
MGCHR232現代社会ともJAVト教2	1				0	0
MGCHR233現代社会ともリスト教3	1				0	0
MGCHR234現代社会ともリスト教4	1				0	0
			0	_		•
MGPHI101哲学史1	1	0	0	0	0	
MGPHI102哲学史2	1	0	0	0	0	
MGPHI201哲学各論1	1	0	0	0	0	
MGPHI202哲学各論2	1	0	0	0	0	
MGPHI211科学思想1	1	0	0	0	0	
MGPHI212科学思想2	1	0	0	0	0	
MGETH101倫理学入門1	1	©	0	0	0	
MGETH102倫理学入門2	1	0	0	0	0	
MGETH201倫理学各論1	1	0	0	0	0	
MGETH202倫理学各論2	1	0	0	0	0	
MGETH203倫理学各論3	1	0	0	0	0	
MGETH204倫理学各論4	1	0	0	0	0	
MGL0G101論理学概論1	1	0	o	0	0	
	-	_			_	
MGL0G102論理学概論2	1	0	0	0	0	
MGL0G201伝統論理学1	1	0	0	0	0	
MGL0G202伝統論理学2	1	0	0	0	0	
MGL0G211現代論理学1	1	0	0	0	0	
MGLOG212現代論理学2	1	0	0	0	0	
MGLIN101言語科学の基礎1	1	0	0	0	0	
MGLIN102言語科学の基礎2	1	0	0	0	0	
MGLIN103言語科学の基礎3	1	0	0	0	0	
	1	0	0	0	0	
MGPSY101心理学入門1	1	0	0	-	0	
MGPSY102心理学入門2	1	0	0		0	
	2	0	0			
MGPSY201心理学各論1	-				0	
MGPSY202心理学各論2	2	0	0		0	
MGPSY203心理学各論3	2	0	0		0	
MGPSY204心理学各論4	2	0	0		0	
MGEDU101教育学の基礎1	1	0				
MGEDU102教育学の基礎2	1	0				
MGART101芸術学の基礎1	1	0	0			
MGART102芸術学の基礎2	1	0	0			
MGART201芸術学各論1	1	0	0			
MGART202芸術学各論2	1	©	0			
MGART203芸術学各論3	1	0	0			
MGART204芸術学各論4	1	0	0			
MGART205芸術学各論5	1	0	0			
	1	0	0			
MGART206芸術学各論6	1					
MGJPL101日本文学概論1	1	0	0	0		
MGJPL102日本文学概論2	1	0	0	0		
MGJPL201日本文学講読1	1	0	0	0		

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性		学習経験と 思考力
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	 重する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
MGJPL202日本文学講読2	1	0	0	0		
MGJPL203日本文学講読3	1	0	0	0		
MGJPL204日本文学講読4	1	0	0	0		
MGJPS101日本文化論入門1	1	0		0		0
MGJPS102日本文化論入門2	1	0		0		0
MGJPS103日本文化論入門3	1	0		0		0
MGJPS104日本文化論入門4	1	0		0		0
MGJPS201日本文化特論1	1			0		0
MGJPS202日本文化特論2	1			0		0
3. 社会科学系科目群						
MGLAW101法学(日本国憲法を含む) 1	1	©	0		0	0
MGLAW102法学(日本国憲法を含む) 2	1	0	0		0	0
MGPOS101政治学1	1	0	0		0	0
MGP0S102政治学2	1	0	0		0	0
MGSOC101社会学理論の基礎1	1	0	0	0	-	-
MGSOC102社会学理論の基礎2	1	0	0	0		
MGS0C111文化とメディアの社会学入門1	1	_	6	0		
MGS0C112文化とメディアの社会学入門2	1		0	0		
MGS0C121生命とアイデンティティの社会学入門1	1		0	0		
MGS0C122生命とアイデンティティの社会学入門2	1		0	0		
MGS0C131環境とコミュニティの社会学入門1	1		6	0		
MGSOC132環境とコミュニティの社会学入門2	1		0	0		
MGSWS101社会福祉学1	1	0		0		0
MGSWS102社会福祉学2	1	0		0		0
MGECN101経済学1	1	0		0	0	0
MGECN101経済学1 MGECN102経済学2	1	0		0	0	0
	_	0			0	0
MGSTA101統計学1 MGSTA102統計学2	1	0				0
*****	1	0				0
MGSTA103統計学3	_	0				
MGSTA104統計学4	1		-			0
MGHIS201歴史学1	1	0	0	0		0
MGHIS202歴史学2	1	0	0	0		0
MGHIS203歴史学3	1	0	0	0		0
MGHIS204歴史学4	1	0	0	0		0
MGHIS205歴史学5	1	0	0	0		0
MGHIS206歴史学6	1	0	0	0		0
MGHIS211歴史学の世界1	1	0	0	0		0
MGHIS212歴史学の世界2	1	0	0	©		0
MGGE0101人文地理学入門1	1	0	0			
MGGE0102人文地理学入門2	1	0	0			
MGGE0201人文地理学1	1	0	0	0		
MGGE0202人文地理学2	1	0	0	0		
MGGE0203人文地理学3	1	0	0	0		
MGGE0204人文地理学4	1	0	0	0		
MGGE0205人文地理学5	1	0	0	0		
MGGE0206人文地理学6	1	0	0	0		
MGANT101文化人類学入門1	1	0	0	0		0
MGANT102文化人類学入門2	1	0	0	0		0
MGANT201文化人類学各論1	1	0	0	0		0
MGANT202文化人類学各論2	1	0	0	0		0
MGSOS101社会科学概論1	1	0	0	0		0
MGSOS102社会科学概論2	1	0	0	0		0
MGS0S103社会科学概論3	1	0	0	0		0
MGS0S104社会科学概論4	1	0	0	0		0
4. 自然科学系科目群						
MGMAT101数学入門1	1	0	0		0	
MGMAT102数学入門2	1	0	0		0	
MGMAT111数学1	1	0	0		0	
MGMAT112数学2	1	0	0		0	

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な特 創造的	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	重する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
MGMAT113数学3	1	0	0		0	
MGMAT114数学4	1	0	0		0	
MGMAT211数学特論1	1	0	0		0	
MGMAT212数学特論2	1	0	0		0	
MGPHY101物理学入門1	1	0	0		0	0
MGPHY102物理学入門2	1	0	0		0	0
MGPHY103物理学入門3	1	0	0		0	0
MGPHY201現代の物理学1	1	0	0		0	0
MGPHY202現代の物理学2	1	0	0		0	0
MGPHY203現代の物理学3	1	0	0		0	0
MGPHY211物理学特論	1	0	0		0	0
MGPHY121物理学方法論A	1	0	0		0	0
MGPHY122物理学方法論B	1	0	0		0	0
MGCHE101化学入門1	1	0	0			
MGCHE102化学入門2	1	0	0			
MGCHE201現代の化学1	1	0	0			
MGCHE202現代の化学2	1	0	0			
MGCHE203現代の化学3	1	0	0			
MGCHE204現代の化学4	1	0	0			
MGCHE121化学方法論A	1	0			0	0
MGCHE122化学方法論B	1	0			0	0
MGBI0101生物学入門1	1	0	0		0	0
MGBI0102生物学入門2	1	0	0		0	0
MGBI0201現代の生物学1	1	0	0		0	0
MGBI0202現代の生物学2	1	©	0		0	0
MGBI0203現代の生物学3	1	©	0		0	0
MGBI0204現代の生物学4	1	0	0		0	0
MGBI0205現代の生物学5	1	0	0		0	0
MGBI0211生物学特論	1	0	0		0	0
MGBI0121生物学方法論A	1	0	0		0	0
MGBI0122生物学方法論B	1	0	0		0	0
MGLIS101生命科学入門1	1	©	0			
MGLIS102生命科学入門2	1	0	0			
MGL IS201生命科学各論1	1	0	0			
MGL IS202生命科学各論2	1	0	0			
MGLIS203生命科学各論3	1	0	0			
MGLIS211生命科学特論	1	0	0		0	6
MGLIS121生命科学方法論A	1	0	0		0	0
MGLIS122生命科学方法論B	1	0	0		0	0
5. 情報処理系科目群				<u> </u>		
MGCOM201コンヒ [°] ュータリテラシー研究1A	1	0	0		0	
MGCOM202コンヒ [°] ュータリテラシー研究1B	1	0	0		0	
MGCOM203コンヒ。ユータリテラシー研究2A	1	0	0		0	
MGCOM204コンヒ°ュータリテラシー研究2B	1	0	0		0	
MGCOM211情報科学1	1	0	0		0	
MGCOM212情報科学2	1	0	0		0	
MGCOM213情報科学3	1	0	0		0	
		0	0		0	
MGCOM214情報科学4	1					
6. 健康・スポーツ科学系科目群 MGHSS101健康科学概論1	1	•				^
MGHSS101健康科学概論1 MGHSS102健康科学概論2					0	0
MGHSS102健康科学概論2	1	0			0	0
MGHSS111スポーツ科学概論1	1	0			0	0
MGHSS112スポーツ科学概論2	1	0			0	0
MGHSS1212末。	1	0			0	0
MGHSS122スポーツ社会学概論2	1	©	_	_	0	0
MGHSS131スポーツ方法学1	1		0	0	0	0
I MOULOON OO - 12	1	I	©	0	0	0
MGHSS132スポーツ方法学2						
MGHSS132スホ - "フ方法学2 MGHSS133スポ-"方法学3 MGHSS134スポ-"方法学4	1		0	0	0	0

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性		学習経験と 思考力
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問 題を捉えるための幅広 い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	I 直する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	I.
MGHSS201トレーニンク・科学理論・実習1	1	0		0	0	0
MGHSS202トレーニンク 科学理論・実習2	1	0		0	0	0
MGHSS211パイオメカニクス理論・実習1	1	0			0	0
MGHSS212パイオメカニクス理論・実習2	1	0			0	0
MGHSS141シース゛ンスポーツ研究1A	1		0	0	0	0
MGHSS143シース゛ンスポーツ研究2A	1		0	0	0	0
MGHSS145シース゛ンスポーツ研究3A	1		0	0	0	0
MGHSS242シース゛ンスポーツ研究1B	1		0	0	0	0
MGHSS244シース*ンスホ°ーツ研究2B	1		0	0	0	0
MGHSS246シース*ンスポーツ研究3B	1		0	6	0	0
7. 総合教育系科目群	1			-	_	_
MGIND101現代世界と人間1	1		0	0	0	
MGIND102現代世界と人間2	1		0	0	0	
MGIND103現代世界と人間3	1		0	0	0	
MGIND104現代世界と人間4	1		0	0	0	
MGIND105現代世界と人間5	1		0	0	0	
MGIND106現代世界と人間6	1		0	0	0	
MGIND111現代社会と教養1	1		0	0	0	
MGIND112現代社会と教養2	1		0	0	0	
MGIND121多文化共生入門1	1		0	0	0	0
MGIND122多文化共生入門2	1		0	0	0	0
MGIND201多文化共生各論1	1		0	0	0	0
MGIND202多文化共生各論2	1		0	0	0	0
MGIND203多文化共生各論3	1		0	0	0	0
MGIND204多文化共生各論4	1		0	0	0	0
MGIND131グローハ゛ルシチス、ンシッフ。 入門1	1		0	0	0	0
	1		0	0	0	0
MGIND132ク゚ローパルシチス゚ンシップ入門2 MGIND211ク゚ローパルシチス゚ンシップ各論1	1		0	0	0	0
	1		0	0		0
MGIND212か。ローハ、ルシチス、ンシップ。各論2				0	0	_
MGIND2135 ローバールシチス ンシップ 各論3	1		0	0	0	0
MGIND214グローバルシチズンシップ各論4		0		_	0	0
MGIND141現代平和研究1	1	0	0	0	0	
MGIND142現代平和研究2	1	0	0	0	0	
MGIND143現代平和研究3	1	0	0	0		0
MGIND221スタデ・ィーツアー1	1		0	0		
MGIND222X97* 1-77-2	1		0	0		
MGIND223スタデ・ィーツアー3	1		0	0		
MGIND224357°4-77-4	1		©	0		
MGMGS101明治学院研究1	1	0				
MGMGS202明治学院研究2	1	0				
MGMGS203明治学院研究3	1	0			_	
MGENV101環境学各論1	1	0	0		0	
MGENV102環境学各論2	1	0	0		0	_
MGENV103環境学各論3	1	0	0		0	0
MGENV104環境学各論4	1	0	0	_	0	0
MGSUS101サステイナヒ・リティー学1	1		0	0	0	0
MGSUS102サステイナヒ*リティー学2	1		0	0	0	0
MGSUS103サステイナビ*リティー学3	1		0	0	0	0
MGSUS104サスティナビリティー学4	1		© -	0	0	0
MGV0L101ボランティア学入門1	1		0	0		0
MGVOL102ポランティア学入門2	1		0	0		0
MGVOL103ポランティ7学入門3	1		0	©		0
MGVOL104ポランティア学入門4	1		0	0		0
MGVOL111ク゚ローパル社会と市民活動入門1	1		0	0	0	0
MGVOL112ク゚ローパル社会と市民活動入門2	1		0	0	0	0
MGV0L201ク゚ローパル社会と市民活動1	1		0	0	0	0
MGV0L202グローバル社会と市民活動2	1		0	0	0	0
MGVOL121ポランティア・市民活動論(国内)1A	1		0	0	0	
MGVOL122ポランティア・市民活動論(海外)2A	1		0	0	0	

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な特 創造的	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コ ミュニケーションカ	多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	重する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
MGVOL223ボランティア・市民活動論(国内)1B	1			0	0	0
MGVOL224ボランティア・市民活動論(海外)2B	2			0	0	0
MGVOL231ボランティア・市民活動実習(国内)	1			0	0	0
MGVOL232ボランティア・市民活動実習(海外)	2			0	0	0
MGVOL301ボランティア・市民活動研究(国内)	2		0		0	0
MGVOL302ボランティア・市民活動研究(海外)	2		0		0	0
MGACW101アカデミック・ライティングの基礎	1		©	0	0	
MGACW201アカデミック・ライティング演習1	1		0	0	0	
MGLCD101ライフテ゛サ゛イン1	1		0	0	0	0
MGLCD202ライフテ゛サ゛イン2	2		0	0	0	0
MGLCD203ライフテ゛サ゛イン3	3		0	0	0	0
MGLCD204ライフテ゛サ゛イン4	3		0	0	0	0
MGLCD111キャリアテ゛サ゛イン1	2		0	0	0	0
MGLCD212+vリアテ゛サ゛イン2	2		0	0	0	0
MGSEM3017ジア・日本研究A	3		0	0	0	0
MGSEM3027ジア・日本研究B	3		0	0	0	0
MGSEM311ヨーロッハ°文化圏研究A	3		0	0	0	0
MGSEM312ヨーロッハ°文化圏研究B	3		0	0	0	0
MGSEM321現代科学研究A	3		0	0	0	0
MGSEM322現代科学研究B	3		0	0	0	0
MGSEM331現代社会研究A	3		0	0	0	0
MGSEM332現代社会研究B	3		0	0	0	0
MGPI0101オルガン実習1	2	0				
MGP10202オルガン実習2	2	0				
MGINT201Japanese Arts and Culture 1	1	0	0	0		
MGINT202Japanese Arts and Culture 2	1	0	0	0		
MGINT203Japanese Arts and Culture 3	1	0	0	0		
MGINT204Japanese Arts and Culture 4	1	0	0	0		
MGINT205Japanese Arts and Culture 5	1	0	0	0		
MGINT206Japanese Arts and Culture 6	1	0	0	0		
MGINT211Japanese History 1	1	0	0	0		
MGINT212Japanese History 2	1	0	0	0		
MGINT213Japanese History 3	1	0	0	0		
MGINT214Japanese History 4	1	0	0	0		
MGINT215Japanese History 5	1	0	0	0		
MGINT216Japanese History 6	1	0	0	0		
MGINT221Japanese Society 1	1	0	0	0		
MGINT222Japanese Society 2	1	0	0	0		
MGINT223Japanese Society 3	1	0	0	0		
MGINT224Japanese Society 4	1	0	0	0		
MGINT225Japanese Society 5	1	0	0	0		
MGINT226Japanese Society 6	1	0	0	0		
MGINT231Multilingualism and Multiculturalism 1	1	0	0	0		
MGINT232Multilingualism and Multiculturalism 2	1	0	0	0		
MGINT233Multilingualism and Multiculturalism 3	1	0	0	0		
MGINT234Multilingualism and Multiculturalism 4	1	0	0	0		
MGINT241Current Issues 1	1	©	0	0		
MGINT242Current Issues 2	1	0	0	0		
MGINT243Current Issues 3	1	©	0	0		
MGINT244Current Issues 4	1	0	0	0		
MGCCS111異文化コミュニケーション研究A	1		0	©	0	
MGCCS112異文化コミュニケーション研究B	1		0	•	0	
留学生関連科目						
MGCCS101日本の社会と文化1A	1		0	0	0	
MGCCS102日本の社会と文化1B	1		0	•	0	
MGCCS103日本の社会と文化2A	1		0	©	0	
MGCCS104日本の社会と文化2B	1		0	0	0	
MGCCS105日本の社会と文化3A	1		0	0	0	
MGCCS106日本の社会と文化3B	1		0	0	0	
	'	<u> </u>				

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な特 創造的	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問 題を捉えるための幅広 い基礎知識		多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度		解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次		科目に最も関連	- 重する能力=◎、科目に関連する	能力=〇	
MGACW2027カデミック・ライティング演習2(留学生専用)	1		0	0	0	
8. 特別学科科目						
社会学概論A	1	0	0	0		
社会学概論B	1	0	0	0		
単位認定用科目						
1. 短期留学認定科目						
MGRES1013-ロッパ [°] 研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES102イギリス研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES103スペイン研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES104ドイツ研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES105フランス研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES106アメリカ研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES107カナダ研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES108韓国研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES109中国研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES110オセアニア研究(短期留学)	1	0	0		0	
MGRES111東南アジア研究(短期留学)	1	0	0		0	
2. 海外インターンシップ 関連科目						
MGITS101海外インターンシップ課題研究A	1		0	0	0	0
MGITS102海外インターンシップ課題研究B	1		0	0	0	0
MGITS201海外インターンシップ。A	1		0	0	0	0
MGITS202海外インターンシップ B	1		0	0	0	0

明治学院共通科目履修の方法

本学の授業科目は、学科科目と共通科目によって構成されており、それぞれについて卒業のために必要とされる修得単位数等が定められている。学生は、学科の定めるところに従いつつ、4年間にわたる自らの学修計画を決定しなければならない。以下は、「明治学院共通科目」の科目名と履修上の諸注意である。学生諸君には、下記の記載事項を精読して、履修登録上の事故を未然に防ぐとともに、自らの教養を高めるために有用な授業科目を見出すことを切に期待する。

[履修上の注意]

- ①A·Bあるいは1~6はそれぞれ独立した科目である。なお、原則としてA·Bは、同一曜時限の同一担当者のクラスを履修することとし、同一曜時限に複数クラスが開講されている場合にも、いずれか1クラスを定めて履修するものとする。
- ②A・Bは原則としてその順序で履修する(いずれかのみの履修の可否、あるいは両方の履修の要否は科目ごとに指示する)こととするが、1~6は特に指示された場合を除き、どの順序で履修しても差し支えない。また、1~6の全てを履修する必要はない。なお、同学期中に1~6の番号の異なる複数の授業を履修してもよい。
- ③以下の表の配当年次とは、その科目を履修できる下限の年次を示したものである。1年次配当科目とは、1年次以上の学生が履修できることを意味している。
- ④特に指示がある科目を除き、同一科目が異なる曜時限に複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。(例:「判外教の思想と文化1」が月曜1限と月曜2限に開講されている場合、履修できるのは片方のみ)
- ⑤修得可能な単位数は、学科ごとに定められている。『履修要項』での説明を参照すること。
- ⑥履修可能なクラスの開講学期等については、Port Hepburnの時間割表(開講科目情報)で、各自が所属する学科・入学年度の時間割表を参照すること。
- ⑦学生は自身の興味関心にしたがって所定のルールの範囲内で自由に履修することができるが、関連する科目を有機的に履修することにより、学修の幅をもたせることが可能である。その理想的な「モデル」として各テーマに沿った「仮想コース」(「アジア地域研究入門コース」・「Do for Others とボランティア・市民活動コース」・「多文化共生コース」・「持続可能な社会コース」)が設定されている。なお、詳細は教養教育センターホームページを参照すること。
- ®教育発達学科生については、明治学院共通科目の実習等の日程が学科科目のそれと重複した場合は学科科目を優先とし、学科科目の欠席事由として配慮しない。また、この場合、明治学院共通科目については履修削除とはしないので注意すること。

[科目ナンバリングについて]

明治学院共通科目には科目ナンバリングが付番される。その意味は下記のとおりとなる。

$$MG$$
 + $\bullet \bullet \bullet \bullet$ + $1 \sim 3$ + $0 \sim 9$ + $1 \sim 9$ 固有記号 科目群の略称 科目のレベル 科目群内の連続番号 $(7 N 7 7 ^{\circ} \gamma) 3$ 文字) (百の位) (十の位以下)

科目のレバルについては、以下のとおりである。

1:基礎 2:応用 3:発展

レバル2以上の科目を履修する場合は、その下位レバルの科目を履修または単位修得していることが望ましい。

科目例: MGCHR101 キリスト教の基礎 A MG + CHR + 1 + 01 + キリスト教の基礎 A 固有記号 科目群の略称 レベル 連続番号 科目名

[必修科目]

必修および選択必修科目。以下の科目 1~3 について、それぞれ所定の単位を修得すること。

1. 「コア科目〕

全学必修のキリスト教関連科目。A·Bそれぞれ2単位、計4単位を修得しなければならない。

ナン	バリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	101~102	キリスト教の基礎 A・B	1	各 2	1 年次

2. [言語系科目]

必修である英語科目と選択必修の初習語科目。

- ・英語科目については、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位を修得しなければならない。
- ・初習語とは、フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、韓国語をいう。いずれか1言語を選択し、その言語について1A・1B、 $2A \cdot 2B$ の各1単位、計4単位を修得しなければならない。可能な限り1年次での履修と単位修得が望ましい。
- ・「日本語」1A·1B、2A·2Bは留学生のための必修外国語科目であり、一般学生は履修することができない。留学生は 「日本語」1A·1B、2A·2B 4単位を必修とし、さらに日本語以外の言語(同一言語、ただし母語は除く)から4単位 を必修とする。
- ・原則として、入学時に選択した「初習語」は他の言語へ変更することはできない。ただし、特別の事情があり、オ リエンテーション期間に申し出た者については、科目責任者が判断する。

言語系必修•選択必修科目

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	101~104	英語コミュニケーション 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGFRE	101~104	フランス語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGCHN	101~104	中国語 1A·1B·2A·2B	1	各1	1 年次
MGGER	101~104	ドイツ語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGSPN	101~104	スペイン語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGKOR	101~104	韓国語 1A·1B·2A·2B	1	各 1	1 年次
MGJPN	101~104	日本語 1A·1B·2A·2B	1	各 1	1 年次

- ・英語以外の言語について、大学入学以前に既に学習している言語を選択する際には必ず教務課窓口に相談すること。
- ・相談の結果、許可された者は上記の言語 1A・1B・2A・2B ではなく、3A・3B・4A・4B を選択必修科目として履修することに なる。

3. [情報処理系科目]

コンピュータに関する選択必修科目。

- ・「コンピュータリテラシー」1は入門クラス、「コンピュータリテラシー」2は初級クラスである。**学生は、自らの習熟度を判断して1または2を選択し、2単位を修得しなければならない。**なお、それぞれの授業内容については、シラバスを参照すること。
- ・入学時に中級以上の技能を有する学生については、情報処理系科目群「コンピュータリテラシー研究」1A・1B・2A・2Bから2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることができる(ただし、教育発達学科生は除く)。

ナンバ	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	101~102	コンヒ [°] ュータリテラシー 1・2	1	各 2	1 年次

[選択科目]

以下の諸科目から自由に選択して履修することができる。多様な科目を選択してもよいし、同一分野の科目を集中的に選択してもよい。学生それぞれの関心に即して履修計画を立てることが可能である。

- ・各科目ごとの内容は、シラバスに(授業テーマを付して)公表される。履修に際してはそれらを参照すること。
- ・履修者数が制限されることがあるので、履修希望者はシラバスを参照すること。

1. [言語系科目群]

※A·Bは独立した科目であるが、可能な限り同一曜時限の同一担当者のクラスを履修することとし、同一曜時限に複数クラスが開講されている場合にも、いずれか1クラスを定めて履修するものとする。

「〇〇語演習」

- ・必修科目として選択した初習語と同じ言語について、コミュニケーション力向上を目指す。
- ・この科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。
- ・「○○語」3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修を許可された者は、同一言語の「○○語演習初級」A・Bは履修できない。

ナンハ	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	111~112	フランス語演習初級 A・B	1	各 1	1 年次
WIGFRE	221~222	フランス語演習中級 A・B	2	各 1	1 年次
MGCHN	111~112	中国語演習初級 A·B	1	各 1	1 年次
MIGGHIN	221~222	中国語演習中級 A·B	2	各 1	1 年次
MOOFD	111~112	ドイツ語演習初級 A・B	1	各 1	1 年次
MGGER	221~222	ドイツ語演習中級 A・B	2	各 1	1 年次
MGSPN	111~112	スペイン語演習初級 A・B	1	各 1	1 年次
MIGSPIN	221~222	スペイン語演習中級 A・B	2	各 1	1 年次
MOKOD	111~112	韓国語演習初級 A·B	1	各 1	1 年次
MGKOR	221~222	韓国語演習中級 A·B	2	各 1	1 年次

「〇〇語研究」・「〇〇語特別研究」

- ・英語および必修科目で選択した初習語について、次年度以降も学修を継続することを希望する学生のためのインテンシ ブクラスである。「○○語研究」1A·1B、2A·2B、3A·3Bは2年次から、「○○語研究」4A·4Bは3年次以上から履修が可能となる。いずれも各学期2単位科目である。
- ・履修に際し一定の語学力が必要とされるため、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「英語研究」を履修することは望ましくない。また、「英語コミュニケーション」が必修ではない学生が履修を希望する場合は、初回の授業に必ず出席して履修許可を得ることが必要である。
- ・必修科目で選択した「初習語」1A·1B、2A·2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「○○語研究」を履修することは 望ましくない。
- ・「英語特別研究」A・Bは、1年次で「英語コミュニケーション」に加えてリテラシー(読み・書き)を強化することを希望する学生のためのインテンシブクラスである(英文学科、国際学科、国際キャリア学科を除く)。
- ・これらの科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。

ナンバ	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	201~202	英語特別研究 A·B	2	各 2	1 年次
WIGENG	211~216	英語研究 1A·1B·2A·2B·3A·3B	2	各 2	2 年次
	211~214	フランス語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
MGFRE	315~316	フランス語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317~318	フランス語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
	211~214	中国語研究 1A·1B·2A·2B	2	各 2	2 年次
MGCHN	315~316	中国語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317~318	中国語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
	211~214	ト・イツ語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
MGGER	315~316	ドイツ語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317~318	ト・イツ語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
	211~214	スペイン語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
MGSPN	315~316	スペイン語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317~318	スペイン語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
	211~214	ロシ7語研究 1A・1B・2A・2B (注 1)	2	各 2	2 年次
MGRUS	315~316	ロシ7語研究 3A・3B (注 1)	3	各 2	2 年次
	317~318	ロシ7語研究 4A・4B (注 1)	3	各 2	3 年次
	211~214	韓国語研究 1A·1B·2A·2B	2	各 2	2 年次
MGKOR	315~316	韓国語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317~318	韓国語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次

注1:「ロシア語研究」の履修を希望する者は教務課に申し出ること。

「〇〇語」3A·3B·4A·4B

・必修科目として選択した言語の既習者用のインテンシブクラスであり、国際学科生以外は自由に履修できない。

ナンバ	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	205~208	フランス語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	1 年次
MGCHN	205~208	中国語 3A·3B·4A·4B	2	各 1	1 年次
MGGER	205~208	ドイツ語 3A・3B・4A・4B	2	各1	1 年次
MGSPN	205~208	スペイン語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	1 年次
MGKOR	205~208	韓国語 3A·3B·4A·4B	2	各 1	1 年次

「○○語の基礎」および西洋古典語研究

・必修および選択必修以外の言語について、基礎的な学修を希望する学生のためのインテンシブクラスである。

ナンバ	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITA	101~102	イタリア語の基礎 A・B	1	各 1	1 年次
MGARB	101~102	アラビア語の基礎 A・B	1	各 1	1 年次
MGTHA	101~102	タイ語の基礎 A・B	1	各 1	1 年次
MGGRE	101~102	ギリシア語研究 A・B	1	各 2	1 年次
MGLAT	101~102	ラテン語研究 A・B	1	各 2	1 年次

手話

・手話の知識を学び、基本的な運用能力を身につける。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
140010	101	手話 1	1	各 2	1 年次
MGSIG	202	手話 2	2	各 2	1 年次

外国文化論科目

・それぞれの国の文化、社会について知識を深め、言語学習への興味を持たせるための入門的科目と、当該言語の資料にも触れながら、社会、文化についての知識を深める各論科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MOFILO	101~106	∃ーロッパ [°] 言語圏の文化入門 1・2・3・4・5・6	1	各 2	1 年次
MGEUC	111~116	∃-ロッパ 言語圏の文化各論 1・2・3・4・5・6	1	各 2	1 年次
MGASC	101~104	アジア言語圏の文化入門 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGASC	111~114	アジア言語圏の文化各論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次

留学生関連科目

- ・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。
- ・留学生の履修については、別途ガイダンス等の説明を参照し、その指導に従うこと。
- ・「日本語研究」3A・3Bは、2年次生でも白金校舎での履修が可能である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MO IDNI	205~208	日本語 3A·3B·4A·4B	2	各 1	2 年次
MGJPN	211~216	日本語研究 1A·1B·2A·2B·3A·3B	2	各 2	2 年次

2. [人文科学系科目群]

ナン	バリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
	201~204	聖書の世界 1・2・3・4	2	各 2	2 年次
MGCHR	211~214	キリスト教の思想と文化 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
MGCHR	221~224	宗教史 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	231~234	現代社会とキリスト教 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	101~102	哲学史 1・2	1	各 2	1 年次
MGPHI	201~202	哲学各論 1・2	2	各 2	1 年次
	211~212	科学思想 1·2	2	各 2	1 年次
MGETH	101~102	倫理学入門 1·2	1	各 2	1 年次
MGETH	201~204	倫理学各論 1·2·3·4	2	各 2	1 年次
	101~102	論理学概論 1·2	1	各 2	1 年次
MGLOG	201~202	伝統論理学 1・2	2	各 2	1 年次
	211~212	現代論理学 1・2	2	各 2	1 年次
MGLIN	101~104	言語科学の基礎 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGPSY	101~102	心理学入門 1·2(注 2)	1	各 2	1 年次
WIGPST	201~204	心理学各論 1・2・3・4(注 2)	2	各 2	2 年次
MGEDU	101~102	教育学の基礎 1・2	1	各 2	1 年次

MGART	101~102	芸術学の基礎 1・2	1	各 2	1 年次
	201~206	芸術学各論 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
MGJPL	101~102	日本文学概論 1・2	1	各 2	1 年次
MGJPL	201~204	日本文学講読 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
MGJPS	101~104	日本文化論入門 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MIGJPS	201~202	日本文化特論 1・2	2	各 2	1 年次

^{※ 3}年次以上で「哲学(専)」1・2を履修するためには、「MGPHI」(哲学)、「MGETH」(倫理学)、「MGLOG」(論理学)の中から、 ナンパ・リングのアルファペ・ットが同一の2科目(計4単位)を修得済みでなければならない。

3. [社会科学系科目群]

ナン	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGLAW	101~102	法学(日本国憲法を含む) 1・2	1	各 2	1 年次
MGPOS	101~102	政治学 1・2	1	各 2	1 年次
	101~102	社会学理論の基礎 1・2	1	各 2	1 年次
мосоо	111~112	文化とメディアの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGSOC	121~122	生命とアイデンティティの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	131~132	環境とコミュニティの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGSWS	101~102	社会福祉学 1·2	1	各 2	1 年次
MGECN	101~102	経済学 1·2	1	各 2	1 年次
MGSTA	101~104	統計学 1-2-3-4	1	各 2	1 年次
MOUTO	201~206	歴史学 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
MGHIS	211~212	歴史学の世界 1・2	2	各 2	1 年次
моого	101~102	人文地理学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGGEO	201~206	人文地理学 1·2·3·4·5·6	2	各 2	1 年次
MOANT	101~102	文化人類学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGANT	201~202	文化人類学各論 1・2	2	各 2	1 年次
MGSOS	101~104	社会科学概論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次

4. [自然科学系科目群]

ナン	バリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
	101~102	数学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGMAT	111~114	数学 1·2·3·4	1	各 2	1 年次
	211~212	数学特論 1・2	2	各 2	1 年次
	101~103	物理学入門 1·2·3	1	各 2	1 年次
MODUV	201~203	現代の物理学 1・2・3	2	各 2	1 年次
MGPHY	211	物理学特論	2	各 2	1 年次
	121~122	物理学方法論 A·B	1	各 2	1 年次
	101~102	化学入門 1·2	1	各 2	1 年次
MGCHE	201~204	現代の化学 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	121~122	化学方法論 A·B	1	各 2	1 年次
MGBIO	101~102	生物学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGBIO	201~205	現代の生物学 1・2・3・4・5	2	各 2	1 年次

注 2:「心理学入門」 $1\cdot 2$ および「心理学各論」 $1\cdot 2\cdot 3\cdot 4$ は心理学科生は履修できない。なお、「心理学各論」 $1\sim 4$ を履修するためには、「心理学入門」 $1\cdot 2$ の単位修得が望ましい。

MGBIO	211	生物学特論	2	各 2	1 年次
MGBIO	121~122	生物学方法論 A·B	1	各 2	1 年次
MGLIS	101~102	生命科学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201~203	生命科学各論 1・2・3	2	各 2	1 年次
MGLIS	211	生命科学特論	2	各 2	1 年次
	121~122	生命科学方法論 A·B	1	各 2	1 年次

5. [情報処理系科目群]

・以下は「コンピュータリテラシー」1および2の発展的学修科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
мосом	201~204	コンピュータリテラシー研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	1 年次
MGCOM	211~214	情報科学 1・2・3・4	2	各 2	1 年次

6. [健康·スポーツ科学系科目群]

・履修に際しては、シラバス、『明治学院共通科目 健康・スポーツ科学系科目履修の手引き』を参照すること。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
	101~102	健康科学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	111~112	スポーツ科学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	121~122	スポーツ社会学概論 1・2	1	各 2	1 年次
MGHSS	131~134	スポーツ方法学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGHSS	201~202	トレーニング科学理論・実習 1・2	2	各 2	1 年次
	211~212	バイオメカニクス理論・実習 1・2	2	各 2	1 年次
	141 • 143 • 145	シーズンスポーツ研究 1A・2A・3A	1	各 2	1 年次
	242-244-246	シース゛ンスポーツ研究 1B・2B・3B	2	各 2	1 年次

7. [総合教育系科目群]

ナンバ	ヾリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
	101~106	現代世界と人間 1・2・3・4・5・6	1	各 2	1 年次
	111~112	現代社会と教養 1・2	1	各 2	1 年次
	121~122	多文化共生入門 1·2	1	各 2	1 年次
MGIND	201~204	多文化共生各論 1·2·3·4	2	各 2	1 年次
MGIND	131~132	グローバルシチス`ンシップ、入門 1・2	1	各 2	1 年次
	211~214	グローハブルシチスブンシップ各論 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	141~143	現代平和研究 1・2・3	1	各 2	1 年次
	221~224	スタディーツアー 1・2・3・4(注 3)	2	各 2	1 年次
MOMOS	101	明治学院研究 1	1	各 2	1 年次
MGMGS	202~203	明治学院研究 2・3	2	各 2	1 年次
MGENV	101~104	環境学各論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGSUS	101~104	サステイナピリティー学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次

	101 104	±*->	1	A 0	4 /T VP
	101~104	* ランティア学入門 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGVOL	111~112	ケローバル社会と市民活動入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201~202	グローバル社会と市民活動 1・2	2	各 2	1 年次
	121	ボランティア・市民活動論(国内)1A	1	各 2	1 年次
	122	ボランティア・市民活動論(海外)2A	1	各 2	1 年次
	223	ボランティア・市民活動論(国内)1B	2	各 2	1 年次
	224	ボランティア・市民活動論(海外)2B	2	各 2	2 年次
MGVOL	231	ボランティア・市民活動実習(国内)	2	各 2	1 年次
	232	ボランティア・市民活動実習(海外)	2	各 2	2 年次
	301	ポランティア・市民活動研究(国内)	3	各 2	2 年次
	302	ボランティア・市民活動研究(海外)	3	各 2	2 年次
MGACW	101	アカデミック・ライティングの基礎	1	各 2	1 年次
MGACW	201	アカテ゛ミック・ライティンク゛演習 1	2	各 2	1 年次
	101	ライフテ゛サ゛イン 1	1	各 2	1 年次
	202	ライフテ゛サ゛イン 2	2	各 2	2 年次
MGLCD	203~204	ライフテ*サ*イン 3・4	2	各 2	3 年次
	111	キャリアテ゛サ゛イン 1	1	各 2	2 年次
	212	キャリアテ゛サ゛イン 2	2	各 2	2 年次
	301~302	アジア・日本研究 A・B	3	各 2	3 年次
МОСЕМ	311~312	∃-ロッハ°文化圏研究 А·В	3	各 2	3 年次
MGSEM	321~322	現代科学研究 A·B	3	各 2	3 年次
	331~332	現代社会研究 A·B	3	各 2	3 年次
MODIO	101	オルカン実習 1 (注 4)	1	各 2	2 年次
MGPIO	202	オルガン実習 2 (注 4)	2	各 2	2 年次
	201~206	Japanese Arts and Culture 1 • 2 • 3 • 4 • 5 • 6	2	各 2	1 年次
	211~216	Japanese History 1 • 2 • 3 • 4 • 5 • 6	2	各 2	1 年次
MGINT	221~226	Japanese Society 1 • 2 • 3 • 4 • 5 • 6	2	各 2	1 年次
	231~234	Multilingualism and Multiculturalism 1 • 2 • 3 • 4	2	各 2	1 年次
	241~244	Current Issues 1 • 2 • 3 • 4	2	各 2	1 年次
MGCCS	111~112	異文化コミュニケーション研究 A・B (注 5)	1	各 2	1 年次

注 3: 「スタディーツアー」1・2・3・4 は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

注 4:「オルガン実習」1・2 は実習体験型の科目であり、その実施時期や授業形態について特別な条件が付されている。

注 5:この科目は、「日本の社会と文化」 $1A \cdot 1B \cdot 2A \cdot 2B \cdot 3A \cdot 3B$ において、留学生の授業に一般学生が参加するために設けられた科目である。この科目の履修資格と履修上の要件については、95n えを参照すること。

留学生関連科目

・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。

ナンバ	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCCS	101~106	日本の社会と文化 1A・1B・2A・2B・3A・3B	1	各 2	1 年次
MGACW	202	アカデミック・ライティング演習 2(留学生専用)	2	各 2	1 年次

8. [特別学科科目]

・学科によっては、(注6)に記載された資格の要件単位となる。

ナン	ベリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
		家族社会学 A·B		各 2	1 年次

注 6:中学(社会)、高校(公民)教育職員免許状取得のために履修する場合は、「教職課程履修要項(諸資格)」も参照すること。

[単位認定用科目]

以下の諸科目は、授業として行われる科目ではなく、留学やインターンシップ等が実施された後に、本学の単位として認定 するための科目である。予め履修登録をすることはできないので注意すること。

1. 「短期留学認定科目]

- ・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への短期留学について、本学が単位を認定するための科目である。短期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。
- ・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「留学ハンドブック」を確認すること。
- ・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

ナン	バリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
	101	∃-บ _้ が。研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
	102	イギリス研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
	103	スペイン研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
MGRES	104	ドイツ研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
MGRES	105	フランス研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
	106	ア刈カ研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
	107	カナダ・研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
	108	韓国研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
	109	中国研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
MGRES	110	オセアニア研究(短期留学)	1	各 4	1 年次
	111	東南アジア研究(短期留学)	1	各 4	1 年次

2. [海外インターンシップ関連科目]

- ・以下は、学生が参加した各種の海外インターンシップについて、本学が単位を認定するための科目である。海外インターンシップ 参加の例としては、「国連ユースポランティア」などがあるが、詳細は国際センター等の発信する掲示を参照すること。
- ・実際に海外インターンシップに参加することが決まった段階で教務課窓口に相談し、単位認定を希望する者は、科目責任 者の許可を得ること。
- ・すべての海外インターンシップが単位認定の対象となるわけではない点に留意すること。
- ・インターンシップ先によって別途配当年次が決められている場合があるので、必ず出願時に確認すること。
- ・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。
- ・これらの科目はP・F評価となるため、GPAには含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITS	101~102	海外インターンシップ [*] 課題研究 A・B	1	各 2	1 年次
WIGITS	201~202	海外インターンシップ。A・B	2	各 4	1 年次

心理学科

《心理学部》

人材養成上の目的・教育目標

心理学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、心理学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

心理学部は"Do for Others"の精神のもと、「こころを探り、人を支える」を教育理念として、現代社会で多くの人が遭遇するさまざまな問題に対して支援することができる「心理支援力のある人材の育成」を人材養成上の目的とする。心理学の基礎を習得し、科学的方法論ならびに関連諸科学の学修と実践を通じて、行動を分析し理解する能力を修得し、その上で、各自の専門分野に応じ、生涯発達の諸段階において他者を理解し支援する力を身につけることを教育目標とする。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

心理学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、心理学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

- 1 グローバルな現代社会で人々が遭遇するさまざまな問題に対し、心理学または教育発達学的関心・理解を示し、それらへの積極的取り組みの姿勢を有している。
- 2 心理学の基礎を修得し、こころのメカニズムの理解のための科学的方法と実践的能力 を身につけている。
- 3 自己理解をもとに、生涯発達の諸段階において他者を理解し、支援できる「心理支援 力」を身につけている。
- 4 自分の個性をふまえ、キャリア発達における課題に対処する力を身につけている。

教育課程の編成および実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

心理学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、心理学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 心理学部の教育理念「こころを探り、人を支える」の意義を理解し、現代社会が提示する多様な問題に積極的に取り組む姿勢を養うため、自己理解力、他者理解力、関係性理解力、問題解決能力などを培うことを教育課程編成の方針とする。
- 2 学年進行に応じて基礎から専門へ段階的に配置された、心理学あるいは教育発達学に 関する多くの専門科目の講義、実習や体験学習、少人数による演習および卒業研究等の 諸科目の学修を通じて、上記「1」の力を学生が身につけられるよう教育課程を編成し 実施する。
- 3 学修成果は、当該科目の学修目標の達成度を試験、レポート、発表、作品などにより 担当教員が評価する。評価基準はそれぞれの科目のシラバスに明示する。

■心理学科

人材養成上の目的・教育目標

心理学部心理学科は、心理学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、心理学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

心理学の方法論ならびに各自の関心のある領域に関する専門的な知識や技能を獲得する。 その上で、自己理解をふまえ、他者との関わりを通じて豊かな人間性と幅広い視野を養い、 現代社会の様々な課題に取り組む積極的な姿勢と実践力を身につけることをねらいとする。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

心理学部心理学科は、心理学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、心理学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに 124 単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

- 1 心理学の方法論ならびに各自の関心のある領域に関する専門的な知識や技能を獲得している。
- 2 自己理解をふまえ、他者との協調的・共生的関わりを通じて豊かな人間性と幅広い視野を養い、現代社会の心理的課題に取り組む積極的な姿勢と実践的心理支援力を身につけている。
- 3 自己の心理学的理解をもとに、生涯にわたる自己と他者のキャリア発達を展開し、総合的に支援する力を身につけている。

教育課程の編成および実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

心理学部心理学科は、心理学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、 心理学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関す る方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 心理学部の教育理念「こころを探り、人を支える」の意義を理解し、現代社会が提示する多様な問題に積極的に取り組む姿勢を養うため、心理学を基盤とした自己理解力、他者理解力、関係性理解力、問題解決能力を培う。
- 2 心理学の方法論を基盤とし、その上に、心理学の多様な領域に関する専門的な知識や 技能を得る講義、演習、実験・実習といった多様な科目を配置して、初年次からの段階 的・体系的な教育を実践する。きめ細かな少人数教育を実施する。さらに外国語文献に よる専門学習を行う。
 - ・1年次:基礎的なアカデミックリテラシーの習得ならびに心理学に関する基礎的知識・ スキルの学習
 - ・2年次:参加体験型学習による心理学の基礎的リテラシーの定着と理解
 - ・2~3年次:心理学の中核部分の学習(実験・実習、心理学の各領域についての知識 の修得、外国語文献による心理学についての学習)
 - ・3~4年次:演習および専門科目による専門学習の深化(講義、実験・実習)、心理学の方法論の実践(卒業研究)

- 3 明治学院共通科目と心理学科科目、他学科科目を配置し、豊かな人間性と幅広い視野を養う。
- 4 学習成果の評価にあたっては、明確な成績評価基準を策定し、学生に提示する。
- 5 公認心理師に配慮したカリキュラムとする。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

対応するディプロマ・ポリシー 心理学科2 心理学科1 心理学科1 心理学科2 心理学科3 心理学の方 法論と技能 に取り組	
ディプロマ・ポリシーに基づく 身につく能力 性と幅広い 視野 法論と専門 的な知識 法論と技能 に取り組 み、支援で きる技能 がりを通じ た豊かな人 間性と幅広い い視野 と、総 り、支援す るカ り、支援す るカ 授業科目名 年次 科目に最も関連する能力=⑥、科目に関連する能力=〇 基礎科目 心の健康 1 ② O O O 心理学概論 1 O O O 心理学研究法 1 O O O	
基礎科目 ①講義科目 心の健康 1 ② O O 心理学概論 1 O O O 心理学研究法 1 O O O	
①講義科目 心の健康 1 ● O O 心理学概論 1 O O 心理学研究法 1 O O	
心の健康 1	
心理学概論 1 O ● 心理学研究法 1 ● O	
心理学研究法 1 ◎ O O	
心理学統計法1●OO	
心理学的支援法 1 O	
神経・生理心理学 1 ◎ O O	
知覚·認知心理学 1 ◎ O O	
社会·集団·家族心理学 I	
発達心理学 1 O ◎ O	
臨床心理学概論 1 O ◎ O	
公認心理師の職責 2 4 O ◎ O	0
調査法 2 ◎ O	
心理学英語講読A 2 O ◎ O	
②実験・実習科目	
基礎統計学 1 O ◎ O	
心理学実験 2 O O ◎	
③演習科目	
基礎演習 1 O O O ◎	
専門科目	
①講義科目	
学習·言語心理学 2 ◎ O	0
生涯発達心理学(乳幼児・児童) 2 ◎ O O	
教育心理学 2 O ◎ O	
障害者・障害児心理学 2 O O O ◎	
異文化間心理学 2 O ◎ O	
対人社会心理学 2 ◎ O O	
応用統計学 2 O ◎ O	
心理学英語講読B 2 O	
感情·人格心理学 2	
消費者心理学 2 O O ◎ O	
人体の構造と機能及び疾病 2 ● O	
心理臨床動作学2OOO	
福祉心理学 2 O	
思考心理学 3 O ● O O	
知覚心理学 3 O O	
神経心理学 3 O O ●	
生理心理学 3 ● 0 0	
生涯発達心理学 (青年) 3 ◎ O O	
生涯発達心理学 (成人·老年) 3 O ◎ O	

学士力		知識・理解		汎用的技能		態度・志向性			統合的な学習経験と 創造的思考カ
対応するディプロマ・ポリシ	_	心理学科2	心理学科1	心理学科1	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく 身につく能力		性と幅広い	心理学の方 法論と専門 的な知識	心理学の方 法論と技能	に取り組 み、支援で	様々な課題 に取り組む	わりを通じ	生的に関わり、支援す	自他のキャリア発達と、総合的心理支援力
授業科目名	年次			科目に最も	関連する能:	力=◎、科目に	! に関連する能	カ=〇	
教育・学校心理学	3		0	0		0	0		
発達臨床心理学	3		0	0		0	0		
グループアプローチ	3		0	0	0			0	
健康・医療心理学	3		0			0	0	0	
心理的アセスメント	3	0	0	0			0		
精神疾患とその治療	3		0	0	0				
精神分析学	3	0				0	0		
認知行動療法	3		0	0			0	0	
司法・犯罪心理学	3	0	0	0		0			
心理学とキャリア	3					0	0	0	0
コミュニティ心理学	3	0			0	0		0	-
社会・集団・家族心理学Ⅱ	3	0	0		_	0		0	
産業・組織心理学	3		0		0	0			0
社会病理学	3	0	0			0	0		
関係行政論	3	0				0	0	0	
質的研究法	3		0	0		0			
②実験・実習科目	3								
生理心理学実習	2		0	0	0				
エないな子关も 施床心理実習 ↑	^		•		•				
施床心理実習D	3				0	0			
観察法実習	3		0	0		0			
調査法実習	3		0	0	0	0			
検査法実習	3		0	0			0		
認知心理学実習	J								
心如心理于天日	2			_			_		
オ 会心理学史羽A	3		0	0	0	0			
社会心理学実習A	3		0	0	©	0		0	
社会心理学実習B	3		0 0	0	•	0		0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習	3 3		0 0 0	0 0		0 0			
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習	3 3 3		0 0	0 0	0	0		0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習	3 3	0	0 0 0	0 0		0 0		0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目	3 3 3 3	0	0 0 0 0	0000	0	0 0 0		0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A	3 3 3 3 -3-4	0	0 0 0 0	© © © O	0	0 0 0	0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A	3 3 3 3 3 -3 4	0	0 0 0 0 0	000000	0	0 0 0	0 0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習1B	3 3 3 3 3 3 4	0	0 0 0 0 0	© © © O	0	0 0 0 0	0 0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習1B 心理学演習2A	3 3 3 3 3 4 4	0	0 0 0 0 0	©	0	0 0 0 0	0 0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習1B 心理学演習2A 心理学演習2B	3 3 3 3 3 3 4	0	0 0 0 0 0	© © © O	0	0 0 0 0	0 0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習1B 心理学演習2A 心理学演習2B 心理学演習2B	3 3 3 3 3 3 4 4 4	0	0 0 0 0 0	©	0	0 0 0 0	0 0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習1B 心理学演習2A 心理学演習2B 心理学演習2B 心理漢習	3 3 3 3 3 4 4	0	0 0 0 0 0	©	0	0 0 0 0	0 0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習2A 心理学演習2B 心理学演習2B 心理演習 ④卒業論文 卒業論文	3 3 3 3 3 3 4 4 4	0	0 0 0 0 0	©	0	0 0 0 0	0 0	0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習1B 心理学演習2A 心理学演習2B 心理学演習2B 心理漢習 ④卒業論文 卒業論文 中学科科目	3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 3		0 0 0 0 0	©	O	0 0 0 0 0 0 0	0 0	0 0	
社会心理学実習B 調査的面接法実習 教育測定学実習 心理実習 ③演習科目 心理学演習1A 心理学演習2A 心理学演習2B 心理学演習2B 心理演習 ④卒業論文 在業論文	3 3 3 3 3 3 4 4 4	O O	0 0 0 0 0	©	0	0 0 0 0	0 0	0	

学士力		知識・理解		汎用的技能		態度・志向性			統合的な学習経験と 創造的思考力
対応するディプロマ・ポリシ-	-	心理学科2	心理学科1	心理学科1	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科3
ディプロマ・ポリシーに基づ [。] 身につく能力		性と幅広い	心理学の方 法論と専門 的な知識		み、支援で	様々な課題 に取り組む	他おとの関じ との選びを を がと に は り り り り た り に れ に れ り れ に れ に れ り れ り れ り れ り れ り	り、支援す	自他のキャリア発達 と、総合的心理支援 カ
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○							
障害児教育相談とアセスメント	3		0	0	0			0	

学士力		知識・理解		汎用的技能		態度・志向性			統合的な学習経験と 創造的思考カ
対応するディプロマ・ポリシー		心理学科2	心理学科1	心理学科1	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく 身につく能力				心理学の方 法論と技能	心理的課題 に取り支援 み、る技能	様々な課題 に取り組む	他者との関じ人広の通び人広	協調的・共 生的に関わ り、支援す る力	自他のキャリア発達 と、総合的心理支援 カ
授業科目名	年次		科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
病弱の心理・生理・病理	3		0	0	0			0	
学校経営と学校図書館	3	0			0	0			0
学校図書館メディアの構成	3	0			0	0			0
学習指導と学校図書館	3		0		0	0			0
情報メディアの活用	3		0		0	0			0
読書と豊かな人間性	3	0			0	0			0

[※]卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

心理学科

(履修の方法)

〔1〕心理学科カリキュラムの概要

- 1. 心理学科のカリキュラムは、専門教育科目(心理学科科目)、隣接領域科目(教育発達学科科目)、明治学院共通科目、教職関連科目から構成されている。明治学院共通科目については、『明治学院共通科目履修の方法』を参照すること。
- 2. 心理学科科目の概要

学科科目は、

- 基礎科目
 - ① 講義科目
 - ② 実験・実習科目
 - ③ 演習科目
- 専門科目
 - ① 講義科目
 - ② 実験・実習科目
 - ③ 演習科目
 - ④ 卒業論文

で構成される。

基礎科目は必修、選択必修、要求または選択科目である。

専門科目は選択必修または全て選択科目である。

専門科目の演習科目、卒業論文などを履修するためには、履修条件があるので注意してほしい。

◎公認心理師については、P.69からの公認心理師の章を確認すること。

[2] 卒業までに必要な単位数

	部	門			卒業	までに必要な	単位数		
	キリスト教	の基礎		ア	4 単位				
明治学院	英語				4 単位				
共通科目	初習語			1	4 単位		計 24 単位		
(注1)	情報処理系	科目		ウ	2 単位				
	自由選択			エ	10 単位				
			必修科目※	オ	10 単位	(注 2)			
		①講義科目	選択必修科目♭	カ	6 単位	(注 2)			
	基礎科目	基礎科目		①神我行口	要求科目#	+		(注3)	
				選択科目	ク		(注 4)		
				②実験・実 習科目	必修科目※	ケ	4 単位	(注 2)	
学科科目		③演習科目	必修科目※	П	2 単位	(注 2)	計 70 単位		
		選択必修科目	\$	サ	1 単位	(注2)			
			①講義科目						
	専門科目		②実験・実習科						
	471 111 H	選択科目	<u> </u>	シ	47 単位	(注 5)			
		3);	③演習科目						
			④卒業論文						
(明治学院共	フリーゾーン (明治学院共通科目・学科科目・教育発達学科科目から選択) ス				30 単位	(注 6)	計 30 単位		
						合 計	124 単位		

- (注1) 明治学院共通科目の履修方法を参照すること。なお、英語および初習語(イ)で9単位以上修得した場合、情報処理系科目(ウ)で3単位以上修得した場合は、自由選択(エ)の単位として扱われる。自由選択(エ)の11単位以上の単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。外国人留学生は、日本語4単位が必修であり、さらに日本語以外の言語(同一言語)から4単位を必修とする。
- (注2) 指定された、必修科目※(オ·ケ·コ)を16単位、選択必修科目 ♭(カ)から6単位以上、選択必修科目 \$(サ)から1単位以上を修得すること。選択必修科目 ♭(カ)7単位以上、選択必修科目 \$(サ)2単位以上の単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。
- (注3) 要求科目#(キ)は、卒業に必須ではないが、2年次に履修が義務づけられるものである。要求科目#(キ)の単位は、専門選択科目(シ)の単位として扱われる。
- (注4) 選択科目(ク)は、卒業に必須の単位ではない。公認心理師資格の取得を視野に入れている学生は「公認心理師受験資格」を参照すること。選択科目(ク)の単位は、専門選択科目(シ)の単位として扱われる。
- (注5) 専門選択科目(シ)は要求科目#(キ)・選択科目(ク)の単位と合わせて、①講義科目②実験・実習科目③演習科目④卒業論文から47単位修得すること。48単位以上の専門選択科目(シ)は単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。
- (注6) フリーゾーン(ス)の30単位は、明治学院共通科目、心理学科科目、および他学科科目のうちの教育発達学科科目から修得すること。
- (注7) 特に指示がある科目を除き、同一科目が複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。

〔3〕年間履修制限単位数

- ・1年間に履修できる単位数は48単位である(「教職に関する科目」と「教科に関する科目(卒業要件外)」は、16単位まで48単位を超えて履修できる)。
- ・同一授業科目を重複履修することはできない。
- ・編入生および転学科生の履修方法は個々の事情によって異なるはずなので、年度始めに教務課の指導を受けること。特に、転学科生の場合、転学科をしたことによる履修の特別な処置を約束するものではないことを承知しておくこと。

「4〕 履修中止除外科目について

学修の手引き「履修 7. 履修中止制度」で履修中止ができない科目としている必修科目、予備登録科目

等に加えて、心理学科における「(g)各学科において定めている履修中止の申請ができない科目」は、以下のとおりである。

- · 選択必修科目 (明治学院共通科目·学科科目)
- 専門科目の演習科目(心理学演習)
- · 要求科目(心理学英語講読 A)

[5] 再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を、学科科目のうち講義科目1科目の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度のD評価の科目を対象として再試験の機会を設ける。該当者の発表は3月の卒業者の発表と同時に行い、試験は3月に実施する。ただし、9月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

[6] 学科科目

基礎科目

以下の講義科目および実験・実習科目は卒業までに必要な単位数の表中オ~コの単位として扱われる。 ※はすべて必修科目である。必修科目は必ず配当年次に履修すること。

b を付した科目は選択必修科目である。

♭については、5科目中、3科目(6単位)以上を修得すること。7単位以上はスの単位として扱われる。 #を付した科目は要求科目である。要求科目は卒業に必須ではないが2年次に履修が義務づけられるものであ る。要求科目の単位はシの単位として扱われる。

①講義科目

配当年次		科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
1	*	心の健康	2	学期		
1	*	心理学概論	2	学期	0	
1	*	心理学研究法	2	学期	0	
1	*	心理学統計法	2	学期	0	
1		心理学的支援法	2	学期	0	
1	Ь	神経・生理心理学	2	学期	0	
1	Ь	知覚・認知心理学	2	学期	0	
1	Ь	社会・集団・家族心理学I	2	学期	0	
1	Ь	発達心理学	2	学期	0	
1	Ь	臨床心理学概論	2	学期	0	
2 4		公認心理師の職責	2	学期	0	
2	*	調査法	2	学期		
2	#	心理学英語講読 A	2	学期		

②実験・実習科目

配当年次		科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
1	*	基礎統計学	2	学期		注 1
2	*	心理学実験	2	学期	0	注 1

(注1) 2時限連続で開講される。

③演習科目

配当年次	科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
1	※基礎演習	2	学期		

専門科目

専門科目は、以下の科目で構成される。基礎科目の要求科目、選択科目の単位と合せて、選択必修科目、①講義科目、②実験・実習科目、③演習科目、④卒業論文の中から、47単位以上を修得すること。48単位以上の単位は、スの単位として扱われる。

①講義科目

配当年次	科 目 名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
2	学習・言語心理学	2	学期	0	
2	生涯発達心理学(乳幼児・児童)	2	学期		
2	教育心理学	2	学期		
2	障害者・障害児心理学	2	学期	0	
2	異文化間心理学	2	学期		
2	対人社会心理学	2	学期		
2	応用統計学	2	学期		注 1
2	心理学英語講読 B	2	学期		注 1
2	感情・人格心理学	2	学期	0	
2	消費者心理学	2	学期		
2	人体の構造と機能及び疾病	2	学期	0	
2	心理臨床動作学	2	学期		
2	福祉心理学	2	学期	0	
3	思考心理学	2	学期		
3	知覚心理学	2	学期		
3	神経心理学	2	学期		
3	生理心理学	2	学期		
3	生涯発達心理学(青年)	2	学期		
3	生涯発達心理学(成人・老年)	2	学期		
3	教育・学校心理学	2	学期	0	
3	発達臨床心理学	2	学期		
3	グループアプローチ	2	学期		
3	健康・医療心理学	2	学期	0	
3	心理的アセスメント	2	学期	0	
3	精神疾患とその治療	2	学期	0	
3	精神分析学	2	学期		
3	認知行動療法	2	学期		
3	司法・犯罪心理学	2	学期	0	
3	心理学とキャリア	2	学期		
3	コミュニティ心理学	2	学期		
3	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	学期	0	
3	産業・組織心理学	2	学期	0	
3	社会病理学	2	学期		
3	関係行政論	2	学期	0	
3	質的研究法	2	学期		注 1

(注1) 定員を超えた場合は選考を行う場合がある。

②実験・実習科目

心理学の専門的な技能を身につけるための科目。科目毎に履修条件が課せられている。シラバスによく目を通 すこと。説明会がある場合には、履修希望者は必ず出席すること。

\$を付した下の科目群から1科目以上履修し、単位を修得すること。

定員を超えた場合は選考を行う。

配当年次		科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
2	\$	生理心理学実習	1	学期		
3	\$	臨床心理実習⋏	1	学期		注 1
3	\$	臨床心理実習B	1	学期		注 1
3	\$	観察法実習	1	学期		· <u> </u>
3	\$	調査法実習	1	学期		
3	69	検査法実習	1	学期		
3	\$	認知心理学実習	1	学期		
3	\$	社会心理学実習A	1	学期		
3	\$	社会心理学実習B	1	学期		
3	69	調査的面接法実習	1	学期		
3	\$	教育測定学実習	1	学期		
2 4		心理実習	4	学期	0	注2

<u>(注1) 「臨床も理実習」は在学中に1 Dレデわか1科目のみ学位修得可能である。</u>

(注2) 公認心理師受験資格の取得を希望する者で、許可を受けた者だけが履修できる。

③演習科目

配当年次	科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
3	心理学演習 1A	2	学期		注 1
3	心理学演習 1B	2	学期		注 1
4	心理学演習 2A	2	学期		注 2
4	心理学演習 2B	2	学期		注 2
4 3	心理演習	2	学期	0	注3

- (注1) ① 2 年次までの必修科目の単位を修得済みであることを履修条件とするゼミが多いが、詳細な履修条件の説明は、 2 年次に実施するゼミ説明会の時に行う。
 - ② 2 年春学期までの成績による選考を行う場合もある。
- (注2) 原則として「心理学演習2A・2B」は同じ担当者の「心理学演習1A・1B」を修得済みであること。
- (注3) 公認心理師受験資格の取得を希望する者のうち、許可を受けた者だけが履修できる。専門選択科目(シ)の単位となるが、心理学演習科目の読み替えはできない。

④卒業論文

配当年次	;	科	B	名	単位数	開講	備考
4	卒業論文				4	通年	

履修予定者は、履修登録期間内に必ず各自履修登録すること。

「卒業論文」の単位を修得するためには、「心理学演習 2 A」「心理学演習 2 B」の両方の単位を修得する必要がある。

「卒業論文」を履修するためには、原則として同じ担当者の「心理学演習 2A」「心理学演習 2B」を同一年度に履修すること。論文は、12, 000字以上であることを原則とする。

〔7〕他学科科目

① 教育発達学科科目

下記科目は、心理学科生が履修できる教育発達学科科目である。以下の科目は卒業までに必要な単位数の表中ス (フリーゾーン;明治学院大学共通科目および学科科目部門)の単位として扱われる。

配当年次	科 目 名	単位数	開講	備考
2	知的障害の病理	2	学期	
2	特別支援教育学総論	2	学期	
3	肢体不自由の心理・生理・病理	2	学期	
3	障害児教育相談とアセスメント	2	学期	
3	病弱の心理・生理・病理	2	学期	
3	学校経営と学校図書館	2	学期	注 1
3	学校図書館メディアの構成	2	学期	注 1
3	学習指導と学校図書館	2	学期	注 1
3	情報メディアの活用	2	学期	注 1
3	読書と豊かな人間性	2	学期	注 1

(注1) 教職科目を履修している学生のみ履修可能。(詳細は別途指示する)

②社会学科科目(卒業要件外)

下記科目は、心理学科生が履修できる社会学科科目である。

下記科目は、教育職員免許状のための単位として履修できる科目であり、卒業要件単位にならない。

下記「社会学科科目」と「[8] 教職課程の教科に関する科目(社会学概論A・Bを除く)」および「教職課程履修要項(諸資格)」に記載の「教職に関する科目」を年間履修制限単位に加えて16単位まで履修できる。

配当年次	科目名	単位数	開講	備考
3	対人関係論	2	学期	

[8] 教職課程の教科に関する科目(卒業要件外)

下記科目は、教育職員免許状のための単位として履修できる科目である。

社会学概論A・Bを除いて、卒業要件単位にならない。

下記「教科に関する科目 (社会学概論A・Bを除く)」と「社会学科科目」および「教職課程履修要項(諸資格)」に記載の「教職に関する科目」を年間履修制限単位に加えて16単位まで履修できる。

配当年次	科目名	単位数	開講	備考
1	社会学概論 A・B	2 • 2	学期	注 1
2	日本史 A·B	2 • 2	学期	
2	世界史 A·B	2 • 2	学期	
2	地誌概説 1・2	2 • 2	学期	
2	地理学概論 1・2	2 • 2	学期	
2	憲法 A·B	2 • 2	学期	注2
2	民法 A·B	2 • 2	学期	注2
2	現代政治理論 1A・1B	2 • 2	学期	
2	国際政治学 A·B	2 • 2	学期	
3	哲学 (専) 1・2	2 • 2	学期	注3
3	宗教学概論 1・2	2 • 2	学期	

3 労働法 1・2	2 • 2	学期	
-----------	-------	----	--

- (注1) 「社会学概論A·B」は、明治学院共通科目として開講されている。
- (注2) Bの履修にあたっては、Aが履修済みであることが望ましい。講義はAの知識を前提として行われる。
- (注3) 「哲学(専) 1・2」を履修するためには、明治学院共通科目[人文科学系科目群]の「MGPHI」(哲学)、「MGETH」(倫理学)、「MGLOG」(論理学)の科目から、同一名称の科目2科目(計4単位)を修得済みでなければならない。

[9] 小学校教育職員免許取得について

玉川大学と本学との協定に基づき、小学校教員免許を取得するために3年次から玉川大学通信教育部の科目等履修生になることができる。それを希望する学生は2年次に行われる説明会に出席し、面接を受け、学科による推薦を得なければならない。心理学科の選考基準は以下のとおりである。

小学校教員になりたいという強い意志を持っている学生で、以下の条件を満たし、面接による口頭試問に合格 した者。

1) 2年次までに以下の学科必修科目および選択必修科目3科目以上の単位を修得または修得見込の者。

必修科目=心の健康、心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、調査法、基礎統計学、心理学実験、基礎演習

選択必修科目=神経・生理心理学、知覚・認知心理学、社会・集団・家族心理学 I 、発達心理学、臨床心理学 概論

2) 中学校社会科教員免許あるいは高等学校公民科教員免許を取得する為に必要な以下の科目の単位を2年次までに 修得または修得見込の者。

教育の思想と歴史、教育制度論、教職研究、社会科・地理歴史科教育研究1、社会科・公民科教育研究1、生 徒理解と指導法、道徳教育研究

但し、社会科・地理歴史科教育研究1と道徳教育研究は高等学校公民科のみ取得する学生は不要。

[10] 卒業論文未提出者・不合格者の9月卒業について

- ・在学5年目以上の学生が、下記条件を満たしている場合、9月卒業の申請科目に「卒業論文」を含めることができる。
- ① 前年度までに「心理学演習 2 A」、「心理学演習 2 B」の単位を修得済であること。
- ② 前年度までに得た「卒業論文」の評価が「D」(提出したが不合格)または「N」(未提出)であること。
- ③ 前年度までに「卒業論文」の指導を1年以上受けていること。
- ④ 卒業希望年度に「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。
- ⑤ 卒論指導担当者(それが不可能の場合は学科主任)に9月卒業を前提とした卒業論文履修者として、履修 の許可を得ていること。
- ・申請者は、卒業論文を7月第一火または水曜日に教務課へ提出し、審査のうえ合格した場合、春学期末に単位 を修得できる。
- ・上記期日に未提出または審査結果が不合格の場合、3月卒業予定の学生と同じ1月の期日に改めて提出することで、3月卒業の可能性がある。
- ・ 卒業論文を上記期日に提出し審査に合格した場合でも、他の卒業要件単位が春学期末に未修得ならば、卒業論 文は年度末に単位を修得することになる。
- ・希望者は、教務課指定の履修許可書に卒論指導担当者の署名と捺印を受け、他の申請書類と併せて教務課に提

出すること。

心理学科科目部門別一覧

	科目名	単 位 数	配当年次	開講		科目名	単 位 数	配当年次	開講
(V	`)基礎科目								
)講義科目								
_	心の健康	2	1	学期	*	心理学研究法	2	1	学期
	心理学概論	2	1	学期	*	心理学統計法	2	1	学期
	心理学的支援法	2	1	学期	*		2	2	学期
	公認心理師の職責	2	4	学期	Ь	神経・生理心理学	2	1	学期
Ь	知覚・認知心理学	2	1	学期	Ь	発達心理学	2	1	学期
Ь	社会・集団・家族心理学I	2	1	学期	Ь	臨床心理学概論	2	1	学期
#	心理学英語講読 A	2	2	学期					
2)実験・実習科目								
*	基礎統計学	2	1	学期	×	心理学実験	2	2	学期
3	演習科目								
_	基礎演習	2	1	学期					
	[)専門科目								
	義科目								
5	知覚心理学・学習心理学領域								
	学習・言語心理学	2	2	学期		知覚心理学	2	3	学期
	思考心理学	2	3	学期					
4	生理心理学・比較心理学領域								
		2	9	于规		神経心理学	2	3	学期
Į.	教育心理学・発達心理学領域	0	0	774 HU		** ** > ***	0	0	774 HU
	生涯発達心理学(乳幼児・児童)	2	2	学期		教育心理学	2	2	学期
	生涯発達心理学(青年)	2	3	学期		教育・学校心理学	2	3	学期
	_生涯発達心理学(成人・老年) 臨床心理学・人格心理学領域	2	3	学期		発達臨床心理学	2	3	学期
, t	端床心理子・入悟心理子関域 障害者・障害児心理学	2	2	学期		グループアプローチ	2	3	学期
	呼音句・呼音先心理子 感情・人格心理学	2	2	子朔		グルーク アクローテ 健康・医療心理学	2	3	学期
	スロ・スロンロチ 人体の構造と機能及び疾病	2	2	学期		司法・犯罪心理学	2	3	学期
	心理的アセスメント	2	3	学期		認知行動療法	2	3	学期
	精神分析学	2	3	学期		精神疾患とその治療	2	3	学期
	福祉心理学	2	2	学期		心理臨床動作学	2	2	学期
4	社会心理学・産業心理学領域			1 /41					1 //1
'	異文化間心理学	2	2	学期		関係行政論	2	3	学期
	対人社会心理学	2	2	学期		産業・組織心理学	2	3	学期
	消費者心理学	2	2	学期		社会病理学	2	3	学期
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	3	学期		心理学とキャリア	2	3	学期
	コミュニティ心理学	2	3	学期					
7	研究法・英語講読								
	応用統計学	2	2	学期		質的研究法	2	3	学期
	心理学英語講読 B	2	2	学期					
②実	験・実習科目								
\$	観察法実習	1	3	学期	\$	検査法実習	1	3	学期
\$	調査法実習	1	3	学期	\$	生理心理学実習	1	2	学期
-	<u> 臨床心理実習 A</u>	+	0	学期	*	<u> 臨床心理実習日</u>	+	- 3	芋期
\$	調査的面接法実習	1	3	学期	\$	教育測定学実習	1	3	学期
\$	社会心理学実習A	1	3	学期	\$	社会心理学実習B	1	3	学期
	認知心理学実習	1	3	学期		心理実習	4	0 4	学期
③演	習科目								
	心理学演習1A	2	3	学期		心理学演習1B	2	3	学期
	心理学演習2A	2	4	学期		心理学演習2B	2	4	学期
<u> </u>	<u>心理演習</u>	2	4- 3	学期					
(4)卒	· 業論文	_	_						
	卒業論文	4	4	通年					

公認心理師

公認心理師

公認心理師の資格と職務

公認心理師法は、2015年9月9日に議員立法により成立し、2017年9月15日に施行された。

公認心理師は、心理学に特化した初めての国家資格である。近年の国民が抱える心の健康の問題は、生活に関わる重要な問題であり、学校、医療機関、その他企業をはじめとする様々な職場において、心理職の活用の促進が求められる。これらの心の問題等をめぐる状況に鑑み、心理に関する支援を必要とする人々の心理に関する相談、援助等の業務に従事する者の資質の向上及びその業務の適正を図り、国民が安心して心理に関する支援を受けられるようにするため、国家資格によって裏付けられた一定の資質を備えた心理職として、公認心理師資格が定められた。

公認心理師は、公認心理師法第2条によれば、「公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、 保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を 行うことを業とする者」である。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師国家試験の受験資格を得るには、心理学部心理学科の学生が、学科教育方針とそれに伴うカリキュラムに沿って所定の科目の単位を在学中に全て修得して卒業し、①大学院生対象の所定の科目の単位を修得したうえで大学院を修了する(Aルート、P.74参照)、または、②認定された医療機関等での実務経験を2年以上(標準は3年)積む(Bルート、P.74参照)必要がある(法第7条1号に該当)。

2018 年度生以降の「公認心理師」国家試験受験資格取得に必要な科目

「公認心理師法」が、2015年に公布された。これに基づき、2018年度生から、以下に示すように法令で定められた「指定科目」に基づいて、本学開講科目を設定している。この本学で設定している国家試験受験資格取得に必要な科目の単位を在学中に全て修得し卒業した後、①大学院修了までに大学院生対象の所定の科目の単位を修める(Aルート)、または、②認定された医療機関等での実務経験を2年以上(標準は3年)積む(Bルート)ことによって、国家試験の受験資格が得られる。

したがって、この試験を受験しようとする者は、下記の諸点をよく注意して科目を履修する必要がある。

◎「指定科目」と本学の開講科目

<法令に定められている「指定科目」とは次の表のとおりである>

指定科目等の名称 心理学基礎科目 公認心理師の職責 心理学概論 臨床心理学概論 心理学研究法 心理学統計法 心理学実験 心理学発展科目 (基礎心理学) 知覚·認知心理学 学習・言語心理学 感情・人格心理学 神経·生理心理学 社会・集団・家族心理学 発達心理学 障害者・障害児心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 (実践心理学) 健康・医療心理学 福祉心理学 教育・学校心理学 司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 (心理学関連科目) 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 関係行政論 実習演習科目 心理演習

<本学で開講されている学科目は、必ずしもこの「指定科目」の名称と同じではない。その対比は次のとおりである。>

指定科目等の名称	開講科目の名称
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学 I (*)
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(*)
	(*)Ⅰ・Ⅱ両方を修得する必要がある

<「心理演習」(3年次・秋学期) 履修の前提条件>

「心理演習」は、原則として『「公認心理師」国家試験受験資格取得に必要な科目 (P.72)』のうちの次の科目を修得し、所定の手続きによって認められたもののみ履修することができる。

	開講科目等の名称	単位数	配当年次
ΙĹ	›理学基礎科目		
	心理学概論	2	1
	臨床心理学概論	2	1
	心理学研究法	2	1
	心理学統計法	2	1
	心理学実験	2	2
心	>理学発展科目(基礎心理学)		
	知覚・認知心理学	2	1
	学習・言語心理学	2	2
	感情・人格心理学	2	2
	神経・生理心理学	2	1
	社会・集団・家族心理学 I	2	1
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	3
	発達心理学	2	1
	障害者・障害児心理学	2	2
	心理的アセスメント	2	3
	心理学的支援法	2	1

<「心理実習」(4年次・春学期) 履修の前提条件>

「心理実習」は、「心理演習」および『「公認心理師」国家試験受験資格取得に必要な科目(履修要項P.72)』のうちの次の科目を修得し、所定の手続きによって認められたもののみ履修することができる。また、「心理実習」の履修においては、「公認心理師の職責」を並行履修する必要がある。

開講科目等の名称	単位数	配当年次
心理学基礎科目		
公認心理師の職責	2	4
心理学発展科目(実践心理学)		
健康・医療心理学	2	3
福祉心理学	2	2
教育・学校心理学	2	3
司法・犯罪心理学	2	3
産業・組織心理学	2	3
(心理学関連科目)		
人体の構造と機能及び疾病	2	2
精神疾患とその治療	2	3
関係行政論	2	3

全学年共通

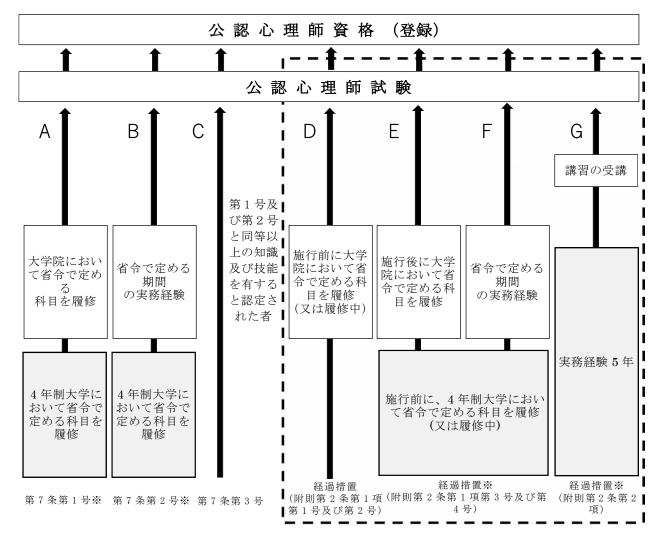
- 1. 転学科生が公認心理師試験の受験資格を得ようとする場合、本学では、原則として卒業までに3年以上を要するので注意すること。
- 2. 公認心理師の資格取得方法は次頁の図のとおりである。

公認心理師資格・受験に関する情報は下記を参照のこと。

厚生労働省 公認心理師関連ページ

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html

公認心理師の資格取得方法について



*該当条文に戻づく受験資格取得者に「準ずるもの」を省令で定めることとされている (「公認心理師カリキュラム等検討会 報告書」より) 諸資格

1. 社会教育主事任用資格

社会教育主事任用資格が取得できる学科

社会教育主事任用資格は、社会学科生と教育発達学科生が取得することができます。

社会教育主事の職務

社会教育とは、学校教育法に基づき、学校において行われる教育活動を除く、主として青少年及び成人に行われる組織的な教育活動を言います。国及び地方公共団体はすべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るように環境を整える努力を義務づけています。都道府県及び市町村の教育委員会では、社会教育に関する諸般の事務を行うため社会教育主事を置いています。

社会教育主事の主たる職務は社会教育を行う者に、専門的技術的な助言と指導を行うことです。

社会教育主事任用資格を得るには

下記 $1\sim4$ のいずれかに該当する者が社会教育主事任用資格を得られます。任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会教育主事にはなれません。

- 1. 大学に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ次に掲げる期間を通算した期間が 3 年以上になる者で、必要とする社会教育主事の講習を修了した者
 - ①社会教育主事補の職にあった期間
 - ②官公署・学校・社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書・学芸員その他の社会教育主事 補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあった期間
 - ③官公署・学校・社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間(①又は②に掲げる期間に該当する期間を除く)
- 2. 教育職員の普通免許状を有し、かつ5年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあった者で、必要とする社会教育主事の講習を修了した者
- 3. 大学に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得しかつ大学において文部科学省令で定める社会教育に関する 科目の単位を修得し、1 の①~③に掲げる期間を通算した期間が 1 年以上になる者
- 4. 社会教育主事の講習を修了した者(1及び2に掲げる者を除く)で、社会教育に関する専門的事項について1~3に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県の教育委員会が認定した者

本学社会学科生および教育発達学科生は、上記3に記載される「社会教育に関する科目」を履修することができます。必要な科目を修得した方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

社会教育主事については、2020年4月より、『社会教育士』という新たな称号付与が予定されています。 それに伴い、本学では2020年4月に社会教育に関する科目の一部改正が行われる予定です。詳細が決定しましたら、取得希望者向けに説明をします。

(教育発達学科)

※本資格の取得は国際教育コースに所属する学生を中心としていますが、他のコースに所属する学生であっても、所属しているコースで指示された科目を履修し、かつ年間履修制限を超えない範囲において必要な科目を履修し単位を修得すれば、本資格を取得することも可能です。但し国際教育コース以外のコースに所属する学生については、4年間の在学期間中に本資格の取得を保証するものではありません。

社会教育に関する科目

社会教育主事講習等 規程に定める社会 教育に関する科目		教育発達学科で開講している科目名 ()内の数字はその科目の単位数					
生涯学習概論	生涯学習概論A	(2)	生涯学習概論B	(2)	必修 4単位		
社会教育計画	多文化社会教育計画A	(2)	多文化社会教育計画B	(2)	必修 4単位		
社会教育演習、社会教育実習 又は社会教育課題研究	多文化社会教育実習	(2)	多文化社会教育課題研究	(2)	必修 4単位		
社会教育特講 I (現代社会と教育)	多文化共生教育	(2)					
社会教育特講 II (社会教育活動・事業・施設)	教育の制度と経営	(2)	教育心理学	(2)	選択必修 12単位		
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	教育原論 教育相談の理論と方法 教育課程編成論	(2) (2) (2)	読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	(2) (2)			

※表は、2019年4月現在「社会教育主事任用資格」取得のために必要な科目です。

社会教育主事は、2020 年 4 月より『社会教育士』という新たな称号付与が予定されており、2020 年 4 月以降、上記科目の一部が変更されます。予定では、上記の表に加えて「生涯学習支援論 A/B」「社会教育経営論 A/B」の履修が必要になり、「多文化社会教育計画 A/B」は履修不要となります。詳細が決定しましたら、取得希望者向けに説明会を開催する予定です。

- (注 1) 社会教育に関する科目のうち、上記の表のように、必修 3 領域より 12 単位、選択必修より 12 単位、計 24 単位を修得する必要があります。
- (注 2)『社会教育特講』は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲそれぞれから科目を修得することが望ましいです。
- (注 3)「多文化社会教育実習」(通年 2 単位)を履修するには、前年度までに次の科目(3 科目)を修得済みであることが前提になります。
 - ① 「多文化共生教育」(2 単位)
 - ② 「生涯学習概論 A」・「生涯学習概論 B」のうち、少なくとも 1 科目 2 単位以上
 - ③ 「教育の制度と経営」・「教育心理学」・「教育課程編成論」のうち、少なくとも1科目2単位以上

2. 社会福祉主事任用資格

社会福祉主事任用資格が取得できる学科

社会福祉主事任用資格は、すべての学科の学生が取得することができます。

社会福祉主事の職務

国、地方公共団体、社会福祉法人など社会福祉事業を経営する者は、福祉サービスを必要としている人たちが心身ともに健やかに育成され、または社会、経済、文化その他の活動に参加する機会が与えられ、その年令、環境、心身の状況に応じて、地域において必要な福祉サービスを提供できるようにしなければなりません。このことに基づき、地方公共団体は、福祉に関する事務所を設置しており、ここには社会福祉主事をおくよう社会福祉法において義務づけられています。

社会福祉主事は、その事務所において生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、及び知的障害者福祉法の定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行うことを職務としています。

社会福祉主事任用資格を得るには

20歳以上の者で、人格高潔で思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ下記1~3のいずれかに該当する者が任用資格を得られます。任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会福祉主事にはなれません。

- 1. 大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修め卒業した者
- 2. 厚生労働大臣の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
- 3. 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者

本学学生は、次ページに挙げる**『社会福祉法に定める科目』を3科目以上修得**することで、社会福祉主事任 用資格を得ることができます。『社会福祉法に定める科目』に対し、『本学で開講している科目』を表記してい ますので、これらの科目を修得してください。

『本学で開講している科目』について、その科目を履修することができる学科を「〇」で示しています、各科目の履修に際しては条件が付される場合もあります。詳しくは所属学部の履修要項でご確認ください。なお表では学科名称に略称を用いています。(LE:英文学科、LF:フランス文学科、LA:芸術学科、EE:経済学科、EB:経営学科、EG:国際経営学科、SG:社会学科、SW:社会福祉学科、JU:法律学科、JC:消費情報環境法学科、JP:政治学科、JG:グローバル法学科、KS:国際学科、KC:国際キャリア学科、PS:心理学科、PE:教育発達学科)

本資格の取得要件を満たしている方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

社会福祉法に	本学で開講してい					履	優修で	きる学	科	(2019	年度.	入学生	<u>:</u>)				
定める科目名	る科目名	LE	LF	LA	EE	EB	EG	SG	SW	JU	JC	JP	JG	KS	KC	PS	PE
	社会福祉学概論 A·B								0								
社会福祉概論	社会福祉学 1 社会福祉学 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク 1A								0								
	社会福祉調査								0								
	社会調査の基礎							0									
社会福祉調査論	社会調査論											0					
	2213 社会調査法													0			
11 A 1=11 /= 7L=A	社会福祉法制							0	0								
社会福祉行政論	福祉行財政と福祉計画							0	0								
社会保障論	社会保障論 A・B				0	0	0	0	0								
公的扶助論	公的扶助論 A							0	0								
旧辛拉加金	児童福祉論 A·B							0	0								
児童福祉論	子ども家庭福祉																0
家庭福祉論	家庭福祉論							0	0								
身体障害者福祉論	身体障害者福祉論							0	0								
知的障害者福祉論	知的障害者福祉論							0	0								
精神障害者保健福祉論	精神疾患とその治療																
老人福祉論	高齢者福祉論 A・B							0	0								
地域福祉論	地域福祉論 A							0	0								
法学	法学(日本国憲法を含む)1 法学(日本国憲法を含む)2	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0	
	2309 法学原論													0			
民法	民法 A・B				0	0	0	0	0			0				0	
民法	民法総則 1・2									0	0	0	0				
	行政法 A・B				0	0	0	0	0								
行政法	行政法 1-1・1-2									0	0	0	0				
行 政法	行政法 2-1・2-2									0	0	0	0				
	経済学概論 1・2					0	0	0	0	0	0	0	0				
	財政学1・2				0	0	0			0	0	0					
経済学	ミクロ経済政策				0	0	0					0					
	マクロ経済政策				0	0	0					0					
	2205 経済原論													0			
社会政策	労働経済学1・2				0	0	0										
	社会政策論 A・B								0								
心理学	心理学概論								0								
心理子	心理学総論																0
	社会学概論 A・B	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
社会学	社会学概論								0								
	2308 社会学原論													0			
教育学	教育の思想と歴史	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	
双 月子	教育原論																0
医学一般	医学知識								0								
リハビリテーション論	リハヒ゛リテーション論																0
介護概論	介護概論								0								

社会福祉主事の資格に関する科目

- (注1)『本学で開講している科目』がない『社会福祉法に定める科目』は上記の表に掲載していません。
- (注2)『本学で開講している科目』において、科目名の後にA・B、1・2が付されている科目は、2科目セットで修得しなければ『社会福祉法に定める科目』1科目と数えることができません。
- (注3)『社会福祉法に定める科目』の同じ区分で、本学で開講している科目を複数科目修得しても、1科目と数えます。 (例えば、社会福祉学科生が「社会福祉学概論A・B」と「社会福祉学1・2」の合計4科目を修得した場合は、 『社会福祉法に定める科目』の『社会福祉概論』1科目の修得と数えます。)
- (注4) 『社会福祉学1・2」および「法学(日本国憲法を含む)1・2」は、明治学院共通科目にある科目を履修してください。

3. 児童福祉司任用資格

児童福祉司の職務

児童福祉法に基づき、児童相談所には児童福祉司をおくことが義務づけられています。

児童福祉司は、児童相談所長の命を受けて、児童の保護、その他児童の福祉に関する事項について、相談 に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等、児童の福祉の増進に努めることを職務としています。

児童福祉司に任用される要件

- 1. 学校教育法に基づく大学において心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれに相当する課程を修め卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事した者
- 2. 社会福祉主事として2年以上、児童福祉事業に従事した者
- 3. 厚生労働大臣の指定する児童福祉司又は児童福祉施設の職員を養成する学校その他の施設を卒業し又は厚生労働大臣の指定する講習会の課程を修了した者
- 4. その他(略)

上記のいずれかに該当する者はこの任用資格が得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務 員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ児童福祉司にはなれません。**

本学社会学科生・社会福祉学科生・心理学科生・教育発達学科生は、卒業することで、上記1に定める「心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれに相当する課程を修め卒業した者」であることになります。その証明は卒業証明書で行うことができます。

児童福祉司任用資格の取得には、これに加えて「厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事」する必要があります。

心理学部専任教員一覧

心理学科

氏 名	主な担当領域
伊藤拓	学校心理学
金沢 吉展	健康心理学/臨床心理学
川端 一光	教育心理学/心理統計学
金城 光	認知心理学
清水 良三	心理臨床動作学
杉山 恵理子	グループアプローチ/福祉心理学
平子 雪乃	心理実習/心理演習
田中 知恵	産業・組織心理学/社会心理学
滑川 瑞穂	臨床心理アセスメント
西園マーハ 文	臨床精神医学
野末 武義	家族心理学
野村 信威	生涯発達心理学
花田 安弘	生理心理学
宮本 聡介	社会心理学/社会的認知
森本 浩志	認知行動療法

教育発達学科

氏 名	主な担当領域
緒方 明子	障害児・者心理学
小野 昌彦	教育臨床心理学
垣花 真一郎	教育心理学
鞍馬 裕美	教育経営学
小林 潤一郎	障害児医学/発達小児科学
佐藤 公	社会科教育学
渋谷 恵	比較・国際教育学
杉山 雅俊	理科教育学
谷川 夏実	保育学·幼児教育学
玉腰 和典	体育科教育学
辻 宏子	数学教育学
手塚 千尋	美術科教育学
中村 敦雄	国語科教育学
根本 淳子	教育方法学
松永 あけみ	発達心理学/保育心理学
水戸 博道	音楽科教育学
宮﨑 眞	特別支援教育学

2019年度生用 心理学部 履修要項 心理学科関係 変更・訂正箇所について

教育発達学科に関する内容の部分は、記載していません。青字は履修要項本文ではなくこの対照表における説明です。

新旧対照表

ページと変更日	新	IB
毎年 更新	履修要項の心理学部専任教員一覧の項	
P.63 2020年 3月18日	〔6〕学科科目 基礎科目 ①講義科目	〔6〕学科科目 基礎科目 ①講義科目
P.65 2020 年	公認心理師の職責:4年次配当科目 「公認心理師の職責」の配当年次を2年次から4年次に	公認心理師の職責: 2年次配当科目
3月18日	専門科目 ②実験・実習科目 心理実習:4年次配当科目 「心理実習」の配当年次を3年次から4年次に	専門科目 ②実験·実習科目 心理実習:3年次配当科目
D.CO	③演習科目 心理演習:3年次配当科目 「心理演習」の配当年次を4年次から3年次に	③ 演習科目 心理演習: 4年次配当科目
P.69 2020年3 月18日	心理学科科目部門別一覧「公認心理士の職責」「心理演習」「心理実習」の配当年次を更新	
P.73 2020年 3月18日	<「心理演習」(3年次・秋学期)履修の前提条件> 「心理演習」(3年次・秋学期)履修の前提条件の表を変更	

ページと変更日	新	IB
P.65 2020年7 月3日	(6)学科科目 専門科目 ②実験·実習科目 <u>臨床心理実習 A</u> <u>臨床心理実習 B</u> 「臨床心理実習 B」を削除	
P.64 2021年 6月10日	(6)学科科目 専門科目 ①講義科目 生理心理学 生理心理学を削除	
P.69 2021年 6月10日	 心理学科科目部門別一覧 (VI)専門科目 ①講義科目 生理心理学・比較心理学領域 生理心理学 生理心理学を削除 	

ページと変更日	新	IΒ
p.58 2021年	公認心理師の職責	
8月18日	配当年次 2→ 4 に変更。	
p.58 2021年	生理心理学	
8月18日	削除	